

10. 修士論文一覧(2001～2020年度)

2001年度

社会動態研究分野

タイトル	指導教員名
A・ギデンズにおけるモダニティ分析と規範的社会学の展開——九〇年代ギデンズ像の再検討——	矢澤 修次郎
「新しい普遍性」をもとめて——文化唯物論とエドワード・サイード——	渡辺 雅男
使用者団体における戦後労使協調主義の形成——日経連を中心に——	渡辺 雅男
戦後高等学校の「単線化」	渡辺 雅男
「国際経済中心城市」上海の空間編制	町村 敬志
ホワイトカラーが「会社人間」化するメカニズム——コンピュータ関連企業A社が経験した1970年代前半から後半にかけての変化——	木本 喜美子
イスラエルにおける社会構造の転換とナショナリズムの再編——90年代のイスラエルへの多面適考察——	梶田 孝道
ブラジル・アマゾンにおける「グリーン・ビジネス」とコミュニティ・プロジェクトの新展開——多国籍企業、先住民、NGOを結ぶグローバルなパートナーシップ——	梶田 孝道

社会文化研究分野

タイトル	指導教員名
『ドイツ・イデオロギー』における意識の三層構造	嶋崎 隆
循環型社会の構築に向けて——廃棄物問題と循環型社会基本法の検討を中心に——	岩佐 茂
ハイデガーにおける技術時代と人間	古茂田 宏
ポール・リクール「他者のような自己自身」における「自己の解釈学」	古茂田 宏
「イポリトス」と「堀川波鼓」の語りにおける比較研究	吉川 良和
敦煌変文の韻散混合文体分析	吉川 良和
現代日本語における動詞のテイル形/タ形——中国語との対照を通して——	中島 由美

人間行動研究分野

タイトル	指導教員名
社会的迷惑に関する心理学的研究——注目する規範の相違による社会的迷惑の生起——	村田 光二
自動的行動の状況適応的な生起過程——次元軸による説明——	村田 光二
情報処理における受け手の感情状態の効果——関連感情と無関係感情による処理方略の差異——	村田 光二
暴力的ビデオゲームの攻撃促進効果と相互作用性	村田 光二
視覚的表現上の人物の性別をわかること——視覚的男性表現の考察から——	安川 一
セクシュアリティの視覚的構成	安川 一
人類学における貨幣理論をめぐって——ニューブリテン島東部Tolai社会における伝統貨幣tambuを事例に——	清水 昭俊
「障害」・「障害者」認識の相互作用論に向けて	浜本 満

人間・社会形成研究分野

タイトル	指導教員名
学校知識「不信」と学力——「学び」と「教え」の対立を超えて——	久富 善之
授業場面の相互行為分析——「教えられているもの」のエスノメソロジー——	久富 善之
日本における学歴社会とメリトクラシーの関係について	久富 善之
「多文化主義」とアイデンティティをめぐる問い——「アイヌ民族に関する教育」についての考察を中心に——	関 啓子
中国における少数民族高等教育と朝鮮族——延辺大学の歴史的変遷に対する考察——	関 啓子
所沢市西地区総合型地域スポーツクラブに関する一考察 ——クラブの設立過程と現状についての検証——	尾崎 正峰
日本の在満朝鮮人教育政策一九三二～一九三七——間島の朝鮮人私立学校を中心に——	加藤 哲郎
戦後日本の金融体制への序説——米国の対日占領政策を中心にして——	加藤 哲郎
報道の責任——北朝鮮帰還問題についての朝日新聞の報道——	加藤 哲郎
1920年代の民法における家族単位の修正——臨時法制審議会における民法改正論議を素材にして——	渡辺 治
冷戦後・日米同盟の再編強化と周辺事態法	渡辺 治
竹内好の思想史的検討——戦後日本における近代化論とナショナリズム思想の文脈の中で——	渡辺 治
明仁皇太子の占領期——「象徴皇太子」への道——	吉田 裕
1950年代の基地行政——土地をめぐる問題を中心として——	吉田 裕
新聞ジャーナリズムの競合関係と協同関係	久富 善之

総合政策研究分野

タイトル	指導教員名
国際労働力移動下における「中国帰国者二世、三世」——就労問題を中心に——	依光 正哲
野宿者の社会的背景と生活実態に関する研究——神奈川県下実態調査に即して——	依光 正哲
政策研究——1990年代の日本の石油政策転換を事例として——	倉田 良樹
基礎年金制度の改革に関する一考察	藤田 伍一

歴史社会研究分野

タイトル	指導教員名
幕末維新における変革主体——河井継之助の場合——	若尾 政希
日本統治下の台湾における国家神道	三谷 孝
淫祠と南宋政権	三谷 孝
国民党政府時代 上海民族煙草産業の拡大振興政策——南洋兄弟煙草公司の事例を中心に——	三谷 孝
<中国残留孤児>問題の現代的意味——老後生活保障問題の視点から——	三谷 孝
中国朝鮮族社会の形成過程——1945.8～1949.10——	三谷 孝

20世紀初頭の工業化都市計画と市民的公論の展開	土肥 恒之
プロイセン農民開放期の村落社会の変質と農民の日常生活	土肥 恒之
メロヴィング期に於ける租税制度——6・7世紀ガリアに於ける司教と王の関係の一側面——	阪西 紀子
ヨーロッパの紋章官	阪西 紀子
アメリカ建国期における女性教育推進論研究	中野 聡
第一次大戦期米国の兵役拒否者政策——良心的兵役拒否者の形成——	中野 聡

地球社会研究専攻

タイトル	指導教員名
ピラミッド論争の争点は何か——パリにおける景観形成とその思想——	内藤 正典
「開発」の語りの諸相——サンロケ多目的ダム開発プロジェクトを事例に——	落合 一泰
終戦後の在日米軍クラブにおける音楽演奏——兵隊・パフォーマー・曲——	落合 一泰
オープンソースソフトウェアの開発——開発対象のアプリケーション領域への拡張に関する一考察——	足羽 與志子
アジア系アメリカ人の「新第二世代」移民——移民研究とアジア系アメリカ人研究の接点——	伊豫谷 登士翁
近代イランにおける高等教育の展開と移民	伊豫谷 登士翁
ココロの振れ幅——ケニア、モンバサの公共団地、Tudor Estateで暮らす意味——	伊豫谷 登士翁
日本人の平和意識——連続性と変化——	矢澤 修次郎
地域住民の交流促進および情報蓄積メディアとしての「地域通貨」	矢澤 修次郎
ジェノサイド研究の成立と発展	矢澤 修次郎
沖縄における構造的暴力の研究	矢澤 修次郎
成人識字教育プログラムにおける学びの場——住民組織と海外支援団体のかかわりから——	関 啓子

2002年度

社会動態研究分野

タイトル	指導教員名
遠距離介護を理解可能にする実践	木本 喜美子
現代日本の地域社会研究における仏教寺院の役割	深澤 英隆
三里塚闘争の社会運動論的研究——有機農業を媒介とした動員構造の形成と展開について	町村 敬志
ノルベルト・エリアスにおける歴史社会学の方法——文明化論の構成とその展開——	矢澤 修次郎
中国における情報化——情報技術と中国共産党および新中間層の関係からの考察——	矢澤 修次郎
日本の流動的建設労働市場における1980年代以降の新たな柔軟性と職務構造の変動——サイン業再編成と労働過程論における「技能」の再考を通して——	小井土 彰宏
日本の学校におけるメンタル・ケア	藤田 和也
中国朝鮮族の日本への国外移動と日本での生活実態 —就学生を中心に	糟谷 憲一

社会文化研究分野

タイトル	指導教員名
『クロツグミ』について	久保 哲司
ベリンスキーにおける「リーチノスチ」の主題化と「国民性」概念の生成	嶋崎 隆
ルーヴル美術館の誕生——アンシャン・レジムにおける美術鑑賞者層の拡大——	森村 敏己
エミール・ゾラの自然主義の諸問題	中野 知律
環境問題と世代間倫理	岩佐 茂
ヘーゲルとオートポイエーシス	嶋崎 隆
プラグマティズムのアクチュアリティ	嶋崎 隆
アーレントの労働・仕事・思考——『人間の条件』における単独経験を中心に——	古茂田 宏
ヘーゲルの判断論	嶋崎 隆
消費論の再検討——経済過程と文化、新しい視座のために——	岩佐 茂
日本語の格助詞とウイグル語の格の対照研究	松岡 弘

人間行動研究分野

タイトル	指導教員名
マジョステレオタイプをめぐる想像力	浜本 満
集団意思決定の優位性に関する心理学的研究	村田 光二
検索容易性研究の諸問題	村田 光二
住民参加型森林管理と資源の所有形態についての一考察——ベトナム北部のヌン族居住村を事例として——	浅見 靖仁
The Soukhung Ceremony and the Vietnamese-Lao Community in Bolikhamsai Province, Laos Pdr	浜本 満
北タイ農村部におけるマイクロファイナンスの検討	児玉谷 史朗
「恐怖」の慣習から「称揚」の宗教へ——ブラジル黒人複合宗教の「歴史」とその人類学的研究をめぐる——	大杉 高司
東アフリカの祖霊崇拜と宗教運動の諸相	浜本 満
メディア上の人物表象と受け手との総合行為をめぐる	安川 一
水資源管理をめぐる住民組織の変容——北タイの農民による主体的灌漑管理を事例として——	児玉谷 史朗
非合理的信念の持続	村田 光二
The Middle Powers Cooperation Approach: The Thai-Japanese Cooperation in the Cambodian Peace Process, 1990-1992	児玉谷 史朗

人間・社会形成研究分野

タイトル	指導教員名
裕仁天皇退位問題	吉田 裕
ソシオ・リエスタ設立運動について——市民主導によるプロスポーツクラブ経営という「実験」の意義と限界	高津 勝

スポーツ少年団の形成過程と変容についての研究	内海 和雄
1920年代「形成」の教育的位置付けを巡る問題——学習雑誌『伸びて行く』に注目して	木村 元
自民党支持基盤の形成過程	渡辺 治
「力」の降臨——レーニン『国家と革命』を読む	加藤 哲郎
イギリス労働運動の衰退と労働党の変貌	渡辺 治
スウェーデン民衆教育の組織化過程とその特質——生涯学習社会論の再検討にむけて	関 啓子
戦後産業界の教育要求	久富 善之
ラグビー・ユニオンのオープン化の過程と選手の国際移動	内海 和雄

総合政策研究分野

タイトル	指導教員名
医療保険における保険者とその役割	藤田 伍一
イギリス国民保健サービス制度成立に関する一考察——一般医の役割を中心に——	藤田 伍一
日本における職業教育の可能性——情報サービス産業技術者の技能形成を事例とした政策論的考察——	倉田 良樹
スウェーデンにおける1999年公的年金改革に関する考察——社会保険方式の中でどう変わったのか——	藤田 伍一
公的介護保険制度におけるケアマネジメントシステムの実態とそのあり方	高田 一夫

歴史社会研究分野

タイトル	指導教員名
改革開放にともなう『延辺日報』の報道の変化——朝鮮語版を中心に——	三谷 孝
トボリスクにおける都市建設と商工業発展	土肥 恒之
竹俣当綱の政治思想——米沢藩明和・安永改革の思想史的研究——	若尾 政希
博愛社から赤十字へ——近代日本におけるジュネーブ条約加盟と戦時救護の起源——	田崎 宣義
経済再編成下におけるアメリカ中西部農村地域の多民族化とその諸相——食肉加工業の再編成過程を中心に——	中野 聡
日本占領下の上海綿行と中国資本家の「抗日」戦争——中国紡と日本帝国主義・在華紡・汪政権の関係をを中心に——	三谷 孝
マッカーサー軍の対日心理作戦と戦後天皇制構想	吉田 裕

地球社会研究専攻

タイトル	指導教員名
The Growing Realization and Changing Status of Rural in India State-Society Relations in Kenya	関 啓子
イスラーム学校における「ブリティッシュ・ムスリム」の創出	内藤 正典
メキシコ映画に見る先住民象	落合 一泰
日本軍政下シンガポール(昭南島)における日本語教育——双方向からのアプローチと教育現場の実態——	関 啓子

オランダにおける共生のありかたをめぐって——イスラーム学校の設立運動と実践風景から——	内藤 正典
「反グローバリゼーション」の場	関 啓子
個々の日常的実践行為の集積/交錯を捉える——イーストLAに生きる意味・アメリカに生きる意味を求めて——	落合 一泰
中国と日本の環境教育に関する比較研究	関 啓子
NGOが担う平和構築(Peace Building)活動への役割と課題	矢澤 修次郎
アジア・ブームの意味	伊豫谷 登士翁
多文化社会におけるマイノリティ教育の可能性と課題——アメラジアン・スクール・イン・オキナワの教育現状から——	関 啓子
State-society relations in Kenya : access to State resources & ethnicity as determinants of political behaviors	児玉谷 史朗

2003年度

社会動態研究分野

タイトル	指導教員名
アグリビジネスにおける小経営農業の地位と役割 ——タイの農村における契約プロイラ—肥育の事例から——	渡辺 雅男
1950年代沖縄島における「日本ナショナリズム」の高揚過程 ——土地闘争の分脈を中心に——	梶田 孝道
高卒就職の再検討 ——制度的枠組みと円滑化の条件に注目して——	渡辺 雅男
中国の市場経済化に伴う男女平等観の変容	木本 喜美子
多様性を確保する都市空間の可能性 ——吉祥寺のコミュニティスペース「キスカフェ」を事例に	矢澤 修次郎
クリントン政権期における国境管理の確立 ——移民政策過程をめぐって	梶田 孝道
自立生活運動におけるピア・カウンセリングの役割	矢澤 修次郎
現代日本における「ノンエリート青年」のリアリティ ——個人化されたアイデンティフィケーションの実践と社会構造——	渡辺 雅男
排日期のハワイ日系コミュニティにおける<信仰>と<同化> 宗教指導者の言説に注目して	深澤 英隆

社会文化研究分野

タイトル	指導教員名
ニーチェ『悲劇の誕生』における「das Ur-Eine」について 「美的現象としてのみ、現存在と世界とは永遠に是認される」	平子 友長
ポリス・ピリニャーク論	中島 由美
夢野久作と<手紙>	中野 知律
人間主義の環境思想を求めて	岩佐 茂
『金瓶梅詞話』に表された明代衣服に関する研究	吉川 良和
インターネット環境における言語行動 ——オンライン掲示板を対象として	中島 由美
ボルドー18世紀後半の植民地商業発展	森村 敏己
フランス社会における「日本文化」の受容 ——1878年パリ万国博覧会とジャポニスム——	森村 敏己

モンゴル語オラド方言の母音体系	中島 由美
ものの「あり方」・「やり方」から見た賢治童話 ——オノマトペ表現を巡って——	中島 由美

人間行動研究分野

タイトル	指導教員名
女性に対する偏見の生起メカニズム ——両面価値的性差別理論からの検討——	村田 光二
呪われる方法 ——人類学的妖術研究の動向とその新たな展望	浜本 満
モロカイ島サブシスタンスの今日的意義と可能性	清水 昭俊
不登校経験について「語ること」・「語らないこと」 ——フリースクールにおける「学習」の比較分析——	浜本 満
Boredom and Creativity: Interaction of Stability and Dynamism	村田 光二
メールはなぜ「話しやすい」のか？ ——CMCにおける自己呈示効力観の上昇——	稲葉 哲郎
マオリ研究の系譜 1920～30年代ニュージーランドにおける「文化接触」研究と、アビラナ・ンガタの集会所建築プロジェクト	清水 昭俊
ドイモイ以降のベトナムにおける農民の組織化と流通活動の変化 ——ハノイ近郊「安全野菜」栽培農村の比較調査を通して——	浅見 靖仁
参照点の明確さがバイアスの生起に与える影響	村田 光二
中国の若者におけるトレンド・ドラマの受容に関する一考察 文化的近似性理論から考える長春若者のドラマ受容に焦点をあてて	安川 一
政府の介入と社会関係資本の「強化・構築可能性」に関する再考察 ——1970年代の韓国のセマウル運動を事例として——	児玉谷 史朗

人間・社会形成研究分野

タイトル	指導教員名
「教科」の存立をめぐる諸問題 ——1950-70年代家庭科教育研究の展開に注目して	木村 元
国際理解教育の実践研究 日本教育映像教育『留学生が先生』プログラムを事例として	関 啓子
ハンナ・アレントによる政治の発見	加藤 哲郎
福祉国家再編期における社会福祉政策ネットワークの動態 ——措置制度改革を事例として	加藤 哲郎
フランスにおける学校選択と「教育」 ——学校選択制度をめぐる諸議論の分析を通して——	関 啓子
大田堯教育論における地域・教育・科学の展開 ——本郷プランからほうんごう子ども図書館へ	木村 元
市民参加と住民自治との対抗 横浜新貨物線反対運動に関する一考察	加藤 哲郎
政治的表現の自主規制の形成と展開 ——安保改定反対運動・「風流夢譚」事件を素材として——	渡辺 治
James A. Banksの多文化教育理論の展開過程	関 啓子

総合政策研究分野

タイトル	指導教員名
中国1990年代年金改革における退職年齢問題の考察 上海市の実態調査の分析から	高田 一夫
日本における外国人労働者の支援活動及び組織化についての研究 ——外国人労働者	依光 正哲

の自発的行動の促進という観点から	
パートタイム労働政策の変化にみる非正規労働に関する政策の動向	倉田 良樹
日本企業の国際人事管理の展開と人材の現地化問題 ——中国における日本企業についての調査を通じて	高田 一夫
中国における人口高齢化と高齢者雇用 ——都市部を中心に考察	高田 一夫

歴史社会研究分野

タイトル	指導教員名
愛国啓蒙運動の言論と活動 ——愛国啓蒙団体を中心に——	糟谷 憲一
説教者の由緒の思想形成と関蟬丸神社の支配拡大化	若尾 政希
一九八〇年代韓国における日本イメージ ——「反日」についての一考察	糟谷 憲一
1980年代中国における教育言説 ——「教育と人間」研究と主体性教育論を中心に	坂元 ひろ子
初期中世ヨーロッパにおける神判 ——フランク時代の法における神判像	阪西 紀子
「非キリスト教化」をめぐるミッシェル・ヴォヴェルの心性史 『18世紀プロヴァンスにおけるバロック的敬虔と非キリスト教化』	山崎 耕一
ルーシの形成とユーラシア ——ジョージ・ヴェルナーツキイの歴史叙述	土肥 恒之
清末における留日女学生と婦女解放運動 ——在日活動と帰国後の動向を中心に	三谷 孝
跡部良顕の思想 ——その世界観をめぐって——	若尾 政希
ロバート・グロステストの気象占星術 ——中世盛期ヨーロッパにおける天候の予測	阪西 紀子
日本近世近代移行期における豪農の活動と地域社会	渡辺 尚志
近世の人々と天変 ——彗星を中心に——	若尾 政希
当道座の支配 ——近世後期の盲人の意識と「盲人観」	若尾 政希
P. T. バーナムとアメリカ文化におけるキュリオシティ	貴堂 嘉之
在東京朝鮮留学生の現実認識と活動	糟谷 憲一
成立期「明星」の思想史的研究 ——二つの事件を中心に	田崎 宣義

地球社会研究専攻

タイトル	指導教員名
公民権運動における非暴力の軌跡 ——自己の社会の相互構築に向けて	矢澤 修次郎
裸のヴィーナス ——ヌード絵画にむけられた眼差し	内藤 正典
ニームの木の「再発見」とインド	伊豫谷 登士翁
聖地ネットワークを通じたヒンドゥー・ナショナリズム空間の生産 ——ヴィシュヴァナート寺院黄金盗難事件を手がかりとして	足羽 與志子
中国における気功の社会史 ——近代・科学・宗教——	足羽 與志子
日本の刑事司法における強姦被害者の人権 ——国際人権基準が示す人権保障の方途	宮地 尚子
軍事化と女性 ——軍事化の議論をめぐるフェミニストの考察とその課題——	伊豫谷 登士翁
文化的景観がもたらす異民族間の共通意識 ——プラハの事例	関 啓子

「場所」のオリエンタリズム 仏教聖地ルンビニ近代開発	落合 一泰
在ベルギールワンダ人コミュニティにおける分裂の要因	宮地 尚子
参加型開発から学ぶ援助機関 —— 個人の学びから組織の学びへ	児玉谷 史朗
トルコはなぜ米軍駐留を拒否したのか —— 親イスラーム政権の判断	内藤 正典
子どもの「エンパワメント」 —— 公共図書館における児童サービスの視点から	関 啓子
ウィルソンが目指したパクス・アメリカーナ	矢澤 修次郎
ウェブの10年 —— 1990年代のインターネット技術開発における文化、市場、標準化	矢澤 修次郎
朝鮮放送二十年	足羽 與志子
日本のテレビドラマにおける在日アジア人象 —— 韓国人女性および中国人女性を事例として	矢澤 修次郎

2004年度

社会動態研究分野

タイトル	指導教員名
戦後都市空間形成史のなかの〈歴史的空間〉の再編——古都保存法成立をめぐる〈開発/反開発〉の実践	町村 敬志
アルチュセールにおける構造、時間、実践の諸問題	矢澤 修次郎
成果主義人事制度が職場組織に及ぼす影響についての実証的研究——丸井の事例から——	渡辺 雅男
多民族国家ロシア連邦における国家—宗教関係——国公立学校における「正教文化の基礎」導入をめぐる——	梶田 孝道
東北アジアのなかのコリアン・ネットワークとアイデンティティ——東北亜平和連帯」の事例研究を中心に	町村 敬志
現代日本における占いの位相——対面式占いにおけるリアリティ生成の問題を中心として——	深澤 英隆
移民第1.5世代に関する一考察——サンディエゴ市のメキシコ移民系の子どもを中心に	小井土 彰宏
現代社会におけるテレビメディア	矢澤 修次郎
インターネットガバナンスの歴史と変容——識別子の資源管理と紛争解決のあり方を中心として——	矢澤 修次郎
シンシア・エンローによる軍隊のフェミニスト分析——統一的再解釈——	梶田 孝道
韓国における外国人労働者と地域社会——非正規滞在者、研修生、そして朝鮮族問題を中心に	梶田 孝道
地域・都市戦略政治の再編——「平成の大合併」の政治社会学的研究——	町村 敬志
全電通「育児休職」協約成立過程に関する実証研究——労働組織のジェンダー構造と〈家族的責任〉	木本 喜美子

社会文化研究分野

タイトル	指導教員名
事的自然観	岩佐 茂
「からくり」研究	古茂田 宏
日本語と中国語におけるテンス・アスペクトの対照比較——A Comparison of Tense and Aspect of Japanese and Chinese——	松岡 弘

エマニュエル・レヴィナスにおけるの能動性と倫理	古茂田 宏
企業は道徳的行為者か	古茂田 宏
「歴史の終焉」論にみる神義論的構造の問題	岩佐 茂
「完了」と「継続」の視点からの「ている」に関する再考察——台湾人日本語上級レベル学習者を対象として——	松岡 弘
絶望の考察	嶋崎 隆
疎外をめぐる問題——『弁証法的理性批判』における疎外論の射程——	岩佐 茂
W・ジェームズの回復論——『宗教的経験の諸相』を中心にして——	古茂田 宏
生世界、内相互性——「現象学的哲学への導き」としての『危機』書の考察——	岩佐 茂
フーコーの考古学における主体の問題——『知の考古学』読解——	古茂田 宏
チベット・モンゴル語系および漢語系の目連故事比較研究	吉川 良和

人間行動研究分野

タイトル	指導教員名
Will Justice and Truth Help Peace?: An Anthropological Perspective on Accountability Institutions in Post-Conflict Sierra Leone	清水 昭俊
アフリカーナー・ナショナリズムの論理——アパルトヘイトとの関連性——	児玉谷 史朗
感情がステレオタイプ化に及ぼす影響——感情が生起した文脈に注目した検討——	村田 光二
フェアトレードの環境問題における啓発効果について	御代川 貴久夫
オーストラリア先住民アボリジニの「アルコール問題」と人類学的理解の可能性	浜本 満
他者の感情推論プロセスの検討——自発的感情推論とその促進要因について——	村田 光二
言説心理学のアプローチを用いた写真の説明場面の考察「現実」の構築の検討	安川 一
「ホストとゲスト」の相互関係をめぐる観光人類学の研究動向とその多様性を考察する可能性の提示——ネパールの首都、カトマンズの観光商業地区タメルを中心に——	浜本 満
後悔の過大推測: 予測後悔と経験後悔	村田 光二
アメリカ・インディアン・コミュニティにおける「伝統主義的DV言説」の一考察——植民地主義告発、伝統回復、主権確立を目指す語りのパターン——	清水 昭俊

人間・社会形成研究分野

タイトル	指導教員名
国立公園における自然保護教育——指導者としての地域住民の意義と可能性——	関 啓子
アメリカのマイノリティ教育と「コミュニティ・スクール」モデル——戦時転住局とインディアン局の教育政策を中心に——	関 啓子
冷戦終結と小国外交の多様化	加藤 哲郎
大学入学者に求められる知的構築能力の日仏比較——バカロレアとセンター試験の歴史科目の試験を比較して——	久富 善之
近代政治理論における「寛容」と国家の生成——ジョン・ロックの思想的展開	加藤 哲郎
高卒後進路選択の今日的状況	久富 善之
スポーツによる地域復興——Sheffield:The National City of Sport を事例にして——	内海 和雄

新興教育運動における政治の教育化の諸相——その成立と定着過程を中心に——	木村 元
東ドイツ地域<転換期世代>における社会化の諸相——転換期のライフヒストリーの読みときから——	関 啓子
「開放」後在日朝鮮人運動における活動家層の形成と展開——在日本朝鮮人連盟を中心に——	加藤 哲郎
経済のグローバル化と総合商社——総合商社の労働と人事管理制度に焦点を当てて——	渡辺 治
都市郊外の幼児の生活	久富 善之

総合政策研究分野

タイトル	指導教員名
病院ボランティア研究——病院改革・医療改革への一つの入り口として——	高田 一夫
日本における外国人労働者の間接雇用に関する諸問題	依光 正哲
若年女子フリーターの属性とキャリア意識の考察——流通店舗勤務者の事例研究——	倉田 良樹
介護保険制度における医療と福祉の連携に関する研究——居宅サービス計画における介護支援専門員と主治医の連携を中心として——	高田 一夫
小売業界における店舗社員のワーク・モチベーション研究 ——多次元の考察と雇用形態別の分析——	倉田 良樹

歴史社会研究分野

タイトル	指導教員名
安政期旗本家の家政改革と「知行付中間層」の機能	渡辺 尚志
中世から近世への移行期における村落社会構造の研究	渡辺 尚志
両大戦間期における建築運動の研究	田崎 宣義
10世紀末-11世紀初めのアキテーヌ地方における神の平和会議——アキテーヌ公の人的紐帯を背景として——	阪西 紀子
宮負定雄の思想——村役人層の国学受容に関する一考察——	若尾 政希
王権へのまなざしの変容——18世紀中葉パリを中心に——	森村 敏己
19世紀ニューヨークにおける「白人種」及び「男性性」・「ケルト民族」の復権——アイルランド系女性移民と雑婚問題を中心に——	貴堂 嘉之
明治初期における地方知識人と地域の社会・文化——備中・備後地方の蘭方医窪田次郎の世界——	若尾 政希
アメリカにおける愛国主義の諸相の一考察——ニクソン政権とニューヨークの建設労働者の動きを中心に——	貴堂 嘉之
満州国における対モンゴル特殊行政の変遷——蒙政部の成立と廃止をめぐる諸問題——	三谷 孝
中国黒龍江省における朝鮮人移民に関する一考察——「満州国」期を中心に——	糟谷 憲一

地球社会研究専攻

タイトル	指導教員名
ウガンダにおける梅毒とエイズ——その表象と政策——	児玉谷 史朗
Aiding Security Sector Reform: Challenges of Institutionalising Democratisation: rough Police Reform in Post-conflict Countries	児玉谷 史朗

母乳哺育推進政策に関する一考察——マラウイにおける母乳哺育を事例として——	宮地 尚子
ピム・フォルタイン党の台頭は何を意味したのか——オランダ社会の「寛容」を問う——	内藤 正典
グローバル化の中の都市貧困層と自立支援プロジェクト——デリー現地NGOの思惑と伝統的フォーク・パフォーマーの諸実践——	児玉谷 史朗
ストラダ・デル・ヴィーノ——イタリアにおけるワイン生産の新展開	内藤 正典
「アカハラ」概念の再考と展望	宮地 尚子
フランス社会における時間政策——新たな試み「時間局」の設置と実践——	矢澤 修次郎
現代社会における自傷行為の多元的考察	宮地 尚子
途上国像と目的に見る「開発教育」のメッセージ——開発援助機関による取り組みから——	関 啓子
開発NGOにおける「パートナーシップ」の検証と南北開発NGOの新しい関係について	足羽 與志子
イスラームと伝統芸能——マレーシアにおけるワヤン・クリの禁止をめぐって——	内藤 正典
独立以降のウズベキスタンにおけるイデオロギーとは何か	内藤 正典
アメリカにおける国立公園制度の形成プロセス——イエローストーンからミッソンの66まで——	足羽 與志子
人権コア論と組み合わせたRights Based Approach to Development の提唱——カンボジアにおける初等教育へのアクセス権を事例として——	児玉谷 史朗
スタディツアーによる参加者の学習プロセス構築の可能性——国際協力NGOと大学の事例から——	児玉谷 史朗
社会主義とジェンダー——旧ソ連「体制転換」期における女性の再配置——	伊豫谷 登士翁
セクター間の協働のあり方と運営方法——ジャパン・プラットフォームを事例として——	矢澤 修次郎
発展途上国における教育開発——モンゴルにおける国際援助・協力の事例を通して——	関 啓子
Media Treatment in Singapore During the Japanese Occupation	ジョナサン・ルイス
マレーシアの民間宗教学校	内藤 正典

2005年度

社会動態研究分野

タイトル	指導教員名
相談相手の選択からみる在日フィリピン人妻の「主体性」の一考察—在日フィリピン人妻へのインタビューを通じて—	梶田 孝道
社会的シティズンシップ(社会権)の再検討-階層化原理との対応関係におけるその本質-	渡辺 雅男
セキュリティの担保におけるソーシャル・キャピタルの役割	矢澤 修次郎
トランスナショナルな社会空間におけるクルド・ナショナリズムの編成-移民がもたらすクルド社会の関係性の変容-	梶田 孝道
若者たちのハローワークのエスノグラフィ—行政サービス窓口の日常的な秩序構成—	町村 敬志
現代社会における社会運動の変容-日本の平和運動を実例にして-	町村 敬志
ナシオンか市民かフランス・ネーションフッドの普遍的コンセンサスをめぐる混乱と妥協(1981~200X)-「ライシテ法」の考察を通して-	梶田 孝道
現代イギリスにおけるミドルクラスの教育戦略-高等教育経験の考察を中心に-	渡辺 雅男

社会文化研究分野

タイトル	指導教員名
『ドイツ・ロマン主義における芸術批判の概念』について-W.ベンヤミンの初期思想における認識の理論-	平子 友長
ワイマール時代におけるクラカウアーの思想—『探偵小説論』についての試論—	久保 哲司
19世紀中葉におけるアメリカ自画像-ナサニエル・ホーソーンのまなざしを通して-	井川 ちとせ
<表現無きもの>の二極性—ヴァルター・ベンヤミン『ドイツ悲哀劇の根源』の考察—	平子 友長
内在しながら思考すること—イマヌエル・カントの批判哲学を表現に即して改めて-根源的に読解するための試論—	平子 友長
ヴェブレン『有閑階級の理論』再読—生活図式という視点から—	嶋崎 隆
水循環からみる下水道の役割と限界-北京の水問題と下水道をめぐって-	岩佐 茂

人間行動研究分野

タイトル	指導教員名
景観をめぐる想像力、および想像力の物的基盤としての景観について	大杉 高司
複数集団に所属する他者の認識-ステレオタイプ活性化における促進と抑制-	村田 光二
外国人労働者の転職過程におけるネットワークの役割—タイにおけるミャンマー人労働者の事例—	浅見 靖仁
においの社会学-「におい」の社会的分野化と嗅覚表象-	安川 一
南アフリカにおける黒人音楽—1900年～ポストアパルトヘイト—	大杉 高司
農村開発と社会関係資本-タイの村落基金を事例として-	浅見 靖仁

人間・社会形成研究分野

タイトル	指導教員名
政治変動と市民セクターの変容—公共利益集団の立法過程—	加藤 哲郎
大学生の就業観の醸成とキャリア教育—『就職ジャーナル』にみる就職活動の変遷から探るキャリア教育のあり方—	久富 善之
沖縄返還運動における「連帯」の論理-日教組の「返還運動」と沖縄教職員会の「復帰運動」-	加藤 哲郎
技術の高度化と「問題」の考察—女子体操競技の社会学的研究	上野 卓郎
沖縄における県別戦没者「慰霊碑」の建設-「静岡の塔」を中心に-	吉田 裕
日本学生野球協会の成立に関する研究-学生野球の統制と自治をめぐって-	高津 勝
女子の「非行」にみられる親の困難と受容—親にとっての「自己と家族の物語」、その生成と組み換えの視点から—	久富 善之
HOW TO PROMOTE GIRLS EDUCATION:GIRLS'EDUCATION IN SENEGAL PROBLEMS AND SOLUTIONS	関 啓子
日中戦争期の臨時軍事費をめぐる議論-帝国議会の委員会を中心に-	吉田 裕
リストカットを切り口として探る成長の条件と可能性	久富 善之
日本の公立中学校文化-不登校経験者にはどう映ったか-	久富 善之

総合政策研究分野

タイトル	指導教員名
形作業請負に関する一考察	倉田 良樹
介護保険制度におけるケアマネージャーに関する一考察—サービス事業者に対する中立性を中心に—	高田 一夫
科学技術における市民参加のメカニズムとしての産学官連帯システムの可能性	林 大樹
訪問介護労働の担い手—職業的確立に関する課題—	依光 正哲
医療政策決定構造とその変化に関する一考察—中医協改革論を手掛かりとして—	高田 一夫
中国都市部における中高年失業者対策の実状とその影響—上海市の実態調査から—	高田 一夫

歴史社会研究分野

タイトル	指導教員名
在日朝鮮人の帰還援護事業の推進	糟谷 憲一
ハワイ日本人移民の「国家」と徴兵制—近代日本とアメリカのあいだ—	貴堂 嘉之
アメリカ合衆国における退役軍人政策と福祉国家的制度の展開	貴堂 嘉之
14世紀テューリンゲンにおける鞭打ち苦行運動—エアフルトを中心に—	阪西 紀子
パリ地理学協会1860年代の発展—探検への支援の事例を中心に—	森村 敏己
植民地期朝鮮における婚姻の制度と様相	糟谷 憲一
甲府町年寄坂田家の「家」意識—将軍年始御礼をめぐって—	若尾 政希
スミソニアン航空宇宙博物館の科学展示—博物館の思想と議会と公衆—	中野 聡
田原藩家老渡辺華山の洋学研究—19世紀前半の時代像・社会像—	若尾 政希
植民地期朝鮮におけるハングル普及運動—朝鮮日報・東亜日報の運動を中心に—	糟谷 憲一
Propaganda and Ideology During the Japanese Occupation of the Philippines	中野 聡
近代中国東北地域における移住民と農業経営—1910～1931年、朝鮮人移民との関わりを中心に—	三谷 孝

地球社会研究専攻

タイトル	指導教員名
ラオス人民革命党政府による旧王国体制の再評価についての考察	落合 一泰
ブルデューにおける「界」概念	矢澤 修次郎
インドにおける基礎教育の見直しと遠隔教育手法活用の考察—生活の質向上のための継続的な学習を目指して—	関 啓子
日本におけるフェアトレードの諸主体に関する研究	矢澤 修次郎
広島戦後三〇年間にみる原爆被害の表象と実践—知・権力・空間—	足羽 與志子
平和構築と文化的課題—現地社会の平和のとり組みをめぐって—	伊豫谷 登士翁
日本人住民と外国籍住民をつなぐ学習プログラムの構造過程—新宿区の事例から—	関 啓子
ニューカマーの子どもと日本の社会—オルタナティブな場の持つ意味と機能から—	関 啓子

デンマークにおけるホイスコーレの過去と現在—オルタナティブ教育であり続けることへの挑戦—	関 啓子
フィリピンのムスリム社会におけるイスラーム教育の持続と変容	関 啓子
マイノリティがつくる商業映画—アジア系アメリカ人映画の二つの課題—	関 啓子
南北キプロス消えざる分断線—和解と再統合は可能か？—	内藤 正典
南太平洋地域の移民と「移民コミュニティ」—送金の持続性を問う—	児玉谷 史朗
身体の監視と管理—身体の位置づけの変容をめぐる—	伊豫谷 登士翁
地方なき国家主義批判—アルゼンチンにおける『第三世界のための司祭運動』(1968-1973)の問題提起から—	落合 一泰
19世紀メキシコの家国建設と絵画運動—ヨーロッパの視線とメキシコの風景—	落合 一泰
「生活の質」の理論と職業家庭両立政策における実践	矢澤 修次郎
現代日本における男性セクシュアリティの考察—雑誌記事を分析対象として—	宮地 尚子
遺骨と記憶—北海道朱鞠内における遺骨掘り起こし運動—	伊豫谷 登士翁
韓・日のテレビ放送におけるイスラーム報道の検証	内藤 正典
観光を通じて表象される「貧困」—モンゴルにおけるストリート・チルドレンの実態を事例として—	伊豫谷 登士翁
マイグラント的風景—日系ペルー人芸術家の実践を通して—	落合 一泰
統治と帰属—アイヌ文化復興のポリティクスについて—	伊豫谷 登士翁

2006年度

社会動態研究分野

タイトル	指導教員名
日本における近代養子制度成立史の考察—1959年から1988年まで—	渡辺 雅男
「フランスにおけるイスラーム」から「フランスのイスラーム」へ—ライシテ原則と移民統合政策の相克—	深澤 英隆
介護保険財政の実証分析	渡辺 雅男
都市計画における専門家の形成—都市の計画に必要とされる知識と専門家の布置—	町村 敬志
若い世代の在日コリアンの自己認識の変化—海外留学経験者の事例から—	小井土 彰宏
在日ベトナム系住民の就労と起業	小井土 彰宏
カイロの歴史的建造物における保存と観光の相互作用—その歴史的背景と現状—	多田 治
個人と国家・市場が新しく出あう場としての観光的移動の可能性—”ロングステイ”を事例として—	小井土 彰宏
定住外国人強制送還についての法社会学的研究—日本における第二世代に関する事例を中心に—	小井土 彰宏

社会文化研究分野

タイトル	指導教員名
社会的承認関係の構造—アクセル・ホネット『承認をめぐる闘争』を中心に	久保 哲司
アーレントの活動概念における矛盾あるいは緊張関係について	嶋崎 隆

日本統治期の大連における演劇の動向-1907年～1931年の興行を中心に-	吉川 良和
マルグリット・デュラスにおけるエクリチュールについて	中野 知律
トマス・カーライルについての試論-sincerity と自我-	平子 友長
クロアチアにおける外来語政策をめぐって -セルビア語との対比を通して-	中島 由美
マルクスにおける〈物質代謝・質料変換〉の射程	岩佐 茂
ハイデガー『存在と時間』における他者 -他者を論じる次元についての一研究-	平子 友長
モーゼス・メンデルスゾーンとベルリン啓蒙主義	平子 友長
発成 -アンリ・ベルクソン『創造的進化』註解-	古茂田 宏

人間行動研究分野

タイトル	指導教員名
Living with Risky Environment : What Helps Farmers to Survive Drought in East SHOWA ZONE,Ethiopia?	児玉谷 史朗
公的場面での偏見の表明-社会的促進に注目して-	村田 光二
「似たものどうし」をめぐる連帯論-ラストファライをとらえる研究視点に関する研究-	大杉 高司
メディアフレームが記事の読者に及ぼす影響	稲葉 哲郎
アイデンティティを脱力化する-セネガル、「ダカール・ウォロフ」の事例から	大杉 高司
中華民国2000年及び2004年総統選挙における中国国民党の選挙広告戦略分析	稲葉 哲郎
韓国企業の持続可能性報告書における信頼性確保問題-第三者レビューの実態調査を通して-	御代川 貴久夫
自然-人間関係からみる内発的発展の農民運動-ジンバブウェの事例を通して-	児玉谷 史朗
ドイツの社会福祉サービス供給主体-公益福祉団体の制度的地位の変容をめぐって-	高田 一夫
ポストカウンターカルチャー研究の可能性-インド・ゴアにおけるヒッピームーブメント 1969年-2000年-	大杉 高司

人間・社会形成研究分野

タイトル	指導教員名
高度成長期における筑豊炭鉱地帯の教育課題と教育実践-筑豊に生きた一教師による教育実践に注目して-	木村 元
1920～40年代の青年教育と教育人口の研究-就学を巡る人々と学校と社会と軍隊の関係史-	木村 元
スポーツブームに関する社会学的研究-ボウリングブームに着目して-	内海 和雄
〈新左翼〉の政治性-雑誌『現代の眼』を中心に-	加藤 哲郎
迷惑施設の立地をめぐる紛争過程-千葉県柏市第二清掃工場建設問題をを中心に-	加藤 哲郎
国民皆保険の論理-新国民健康保険法導入の際の政財官と労働者の思想-	渡辺 治
「情報」化する学校教育:networked teachers	久富 善之
イギリス都市環境教育の基礎的研究-「教育施設」に注目して-	関 啓子

総合政策研究分野

タイトル	指導教員名
コーポレート・ガバナンスと労使関係-労働組合の役割を巡って-	倉田 良樹
複数組織連携時における正当化基準生成に関する研究	一條 和生
我が国におけるフィリピン人女性労働者の就業実態と政策-「エンターテイナー」の労働者性を中心として-	倉田 良樹
NPOによるがん終末期在宅ホスピスケア支援-死を包括したコミュニティ実現へ向けて-	林 大樹
中国新型農村合作医療制度の研究	高田 一夫

歴史社会研究分野

タイトル	指導教員名
戦後沖縄社会と南洋群島引揚者-引揚者団体活動に注目して-	中野 聡
アメリカ合衆国におけるモン族難民の市民化-モン・ヴェテラン帰化法の制定過程を中心に-	貴堂 嘉之
20世紀初頭アメリカ合衆国における社会保障思想の形成-1914年ニューヨーク市失業者救援運動の展開-	貴堂 嘉之
十八世紀における在村知識人の読書と学問-奥貫友山の思想を事例として-	若尾 政希
日本陸軍における戦争神経症-日露戦争からアジア・太平洋戦争まで-	吉田 裕
14世紀中葉のストックホルム -ハンザとの関係性に注目して-	阪西 紀子
歴史教科書検定の国際問題化-日韓両国における1982年の教科書問題を中心に-	吉田 裕

地球社会研究専攻

タイトル	指導教員名
イギリスにおけるギャップ・イヤーの主体像-自分探しの先に見つけるもの-	ジョナサン・ルイス
再生産労働のコリアン・ネットワーク	伊豫谷 登士翁
八重山女性の植民地下台湾経験-ジェンダーとコロニアリズムの交錯点として-	宮地 尚子
ローカル化の言説実践についての一考察-日本という場において様々な呼称で名指される人(々)を例に-	伊豫谷 登士翁
手仕事の復権-秩父銘仙の盛衰を手がかりとして-	落合 一泰
キリスト教基礎共同体の公的性と外部性-フィリピンの事例から-	足羽 與志子
「インターセックス」の多様な実態	宮地 尚子
境界線上の「在外日本人」-「在外日本人」が「日本人」と呼ばれるとき-	伊豫谷 登士翁
日本におけるフェアトレードの普及とその課題 -貧困問題に対する消費者・企業の協働を目指して-	落合 一泰

2007年度

社会動態研究分野

タイトル	指導教員名
不妊治療における看護師の位置と影響力	木本 喜美子
戦前期日本の救貧制度における生の規範 -救護法を軸に-	佐藤 文香

戦前期日本の「救癪」運動の論理と優生的ヒューマニズム	渡辺 雅男
<女性と仏教>をめぐる現代的課題とその解決に向けて -「女性と仏教 東海・関東ネットワーク」の事例から-	深澤 英隆
危機の空間／場所の共起 -郊外団地・集会所の空間誌-	町村 敬志
「ニューカマー」の子ども達が抱えるジレンマと日本の学校 -学習支援教室における「ニューカマー」の子ども達の「解放」と「出会い」から-	小井土 彰宏
アイヌをめぐる語りの変遷 -自然との関係性の視座から-	小井土 彰宏
L・T・ホブハウスの福祉思想 -新自由主義、社会学、倫理学の連関-	渡辺 雅男
外国に繋がりを持つ子どものアイデンティティと多文化教育 -多文化状況にある学校を事例として-	小井土 彰宏
母性化される郊外 -多摩田園都市にみる郊外形成の一事例-	町村 敬志
フランス郊外における社会的排除と「経験の共同体」-2005年秋の「暴動」に対する社会学的分析についての一考察-	伊藤 るり
ダム計画をめぐる生活史 -積み重ねられた時間を聴く-	町村 敬志
田舎暮らしの社会学	多田 治

社会文化研究分野

タイトル	指導教員名
デリダ、記号とエクリチュール	古茂田 宏
現代都市の場所と生活世界 -現象学的地理学とA.シュッツのレリヴァンス論から-	古茂田 宏
ヘーゲル『人倫の体系』における近代市民社会認識 -労働と相互承認を通じた有機的共同体の構想-	岩佐 茂
第二帝政期フランスにおける文学裁判	森村 敏己
マルクスにおける方法としての唯物論	岩佐 茂
不平等論をめぐる -ルソーとそのライバルたち-	森村 敏己
日本における有機農業の展開と課題 -医食同源の視点から-	岩佐 茂

人間行動研究分野

タイトル	指導教員名
カルゴ・システム再考	大杉 高司
充溢的現前と共同体 -ナショナリズム研究にみる共同体観	大杉 高司
世帯の食糧供給と女性の経済的自律性 -ガンビアにおけるマンディンカの農村部を事例として-	児玉谷 史朗
地域社会自然資源管理における軋轢に関する一考察 -ガーナ森林保護プロジェクトを事例に-	児玉谷 史朗
有能な人ほど冷たいか？ -嫉妬的ステレオタイプ集団成員に見る能力と人柄の力動的関係-	村田 光二
イデオロギーの非一面性に対処する -マイケル・ビリグ「レトリック心理学」の再構成-	安川 一
行為としての信念 -米国における保守福音派キリスト教徒を事例に-	大杉 高司
ヒトとモノの間で	石井 美保

人間・社会形成研究分野

タイトル	指導教員名
子ども文庫がつなぐ地域社会	久富 善之
戦後日本における「保守」と「革新」の思想 -知識人の平和論を中心に-	吉田 裕
戦後日本の平和運動における加害性の思想・論理の形成 -1960年代に焦点を当てて-	渡辺 治
農村女性の子育てと労働における継承と生成 -1920年代生まれの母とその娘のライフストーリーに着目して-	木村 元
ウズベキスタンの「憲法」の教科書に見る社会統合	関 啓子
マスメディアにおける天皇・皇族写真 -撮影許可をめぐる当局・マスメディア間の力学に焦点をあてて-	吉田 裕
戦時期奄美に生きたシマンチュの進路選択 -家族・地域社会・戦争に注目して-	木村 元
子育ての場における「国際交流」の可能性 -「つどいの広場」を通して-	関 啓子
アイデンティティプロジェクト -イメージ戦略から見る生徒-生徒関係のダイナミクス-	久富 善之
進路選択時における大学生の「動機」形成過程 -自己物語の統合化に着目して-	久富 善之
ドイツにおける学校の役割変容 -ブレーメン州の終日学校を事例に-	木村 元
留学生受け入れ戦略からみた大学の国際化	関 啓子
利害関係理論の基礎 -利害関係概念の再構成と利害関係の機能についての理論的考察-	加藤 哲郎
大学の管理・運営における全構成員自治の定位	中田 康彦
靖国神社の合祀事務 -国による協力と靖国神社のジレンマ-	吉田 裕
中国「一人っ子政策」下の世代間葛藤 -北京市「初代一人っ子」と母親のオーラルストーリーを通して-	木村 元
朴正熙維新体制下の労働政策 -国家保衛法を中心に-	渡辺 治
フランスのスポーツ政策とスポーツ運動 -断絶と連続-	上野 卓郎

総合政策研究分野

タイトル	指導教員名
広域連合における在宅介護者支援システムの構想 -円滑な情報提供と介護者のニーズに即した運営体制を目指して-	高田 一夫
バブル経済崩壊後の自営業及び中小企業の二極化について-	高田 一夫
戦後日本の非婚化とその要因としての女性労働と結婚観の変遷	高田 一夫
ホームヘルパーのコミュニケーション能力 -利用者のQOLの向上と、ヘルパーの能力開発に向けて-	高田 一夫

歴史社会研究分野

タイトル	指導教員名
現代アメリカのネイティヴィズム -環境保護運動への移民制限論者の「介入」を中心として-	貴堂 嘉之
ストラスブール司教アルマン=ガストン・ド・ロアンの政治的使命と文化的活動 -1704年から1749年を中心に-	森村 敏己
基地闘争と平和意識の展開 -砂川闘争における「反対の論理」と住民-	吉田 裕

アジア・太平洋戦争期における日本点字図書館	田崎 宣義
近世後期下総国における豪農の歴史叙述と村・地域社会 -海老原長彦と「龍腹寺村根元記」の形成-	渡辺 尚志
アメリカ社会における女性平和運動 -1961年から1972年の「平和のための女性ストライキ」から-	中野 聡
塔の街フィレンツェ -中世後期における都市貴族の盛衰とともに-	土肥 恒之
再建期アメリカにおける結婚制度をめぐるポリティクス -ヴィクトリア・ウッドハルのフリー・ラヴについての考察-	貴堂 嘉之
日米交換船の歴史的展開と帰還者の経験	貴堂 嘉之
在日米軍立川基地と地域社会 -「パンパン」の存在とその「浄化運動」を中心に-	吉田 裕

地球社会研究専攻

タイトル	指導教員名
日本における国際協力NGOの課題 -資金調達の見点から-	伊豫谷 登士翁
ファッション・フリークス・ジャーニー -結び合う生を求めて-	内藤 正典
ジャカルタ首都圏における工場労働者の社会的位置づけと経験	足羽 與志子
現代トルコのイスラーム復興運動 -ミッリーギョリュシュ運動を通じて-	内藤 正典
スリランカにおけるムスリムというエスニシティ	足羽 與志子
在日フィリピン人女性の介護労働市場への統合 -移住女性の家庭および市場におけるジェンダー位置-	伊豫谷 登士翁
「私的」な事柄とその社会的位相についての一考 -諫早湾干拓事業における或る漁業者の「聞き入れられない」生活史から-	多田 治
アンコールにおける文化遺産保存の現状と課題	内藤 正典
内戦後カンボジアにおける平和構築が村落社会に与えた影響 -難民と元兵士の社会統合を事例として-	児玉谷 史朗
ケニアの古着マーケットにおける小売り商人についての考察 -ナイロビ、ギコンバ地域を事例に-	児玉谷 史朗
An Introduction to Infantile Anthropology	落合 一泰
Illegal Aliens and	伊豫谷 登士翁
Background and Development of Branding: Case Studies of Sensorial Branding and Asian Branding	ジョナサン・ルイス
The Okinawan-Filipino as Postcolonials: Their Identity Vis-a-vis the U.S. Bases and Okinawan Society	伊豫谷 登士翁

2008年度

社会動態研究分野

タイトル	指導教員名
信・望・愛への気づき-浦上キリシタン史とカトリックの被爆者の生活史-	濱谷 正晴
父子家庭とネットワーク	木本 喜美子
日本における医療通訳の実態と専門職としての可能性-神奈川県医療通訳組織を事例として-	小井土 彰宏

「記憶の場」を創る-フランス・国立移民史シテの政治学-	伊藤 るり
現代中国の「自由主義」に関する一考察	渡辺 雅男
里親として生きる-里親家庭の実態に関する一考察-	木本 喜美子
秘書の労働世界	木本 喜美子
労働市場の変容と若年不安定就労層による運動	小井土 彰宏
「芸術」としての大道芸に関する考察-ヘブンアーティスト事業をめぐる大道芸人の実践-	町村 敬志
B.R.アンベードカルの思想と仏教改宗運動	深澤 英隆
八重山社会における戦前-戦後の断絶性と連続性-1950年頃までの八重山教育界の分析を中心に-	多田 治
マルクスの「経済学批判体系」における家族の概念	渡辺 雅男
ルーマン理論のアーキテクチャ	多田 治
戦後日本における1980年代までの経営者「階級」-インナー・サークル概念を手がかりに-	渡辺 雅男
ホワイトカラー統制と労働時間政策	渡辺 雅男
日比婚外子とフィリピン人母親による市民権闘争	伊藤 るり
在日ブラジル人の請負現場	小井土 彰宏
PREJUDICE AND REALITY ON THE PROBLEMS OF 'NEET' -CASE STUDY IN JAPAN-	渡辺 雅男
「祖国」メディアがポスト越境世代の民族アイデンティティに及ぼす影響-在日韓国・朝鮮人の「韓流」メディア接触を中心に-	町村 敬志
現代中国における「市民社会論」に関する一考察-市民社会論争を中心に-	渡辺 雅男

社会文化研究分野

タイトル	指導教員名
ウイットゲンシュタインの独我論と論理	嶋崎 隆
言語行為論とテキスト-デリダ=サール論争を通じて-	古茂田 宏
「イメージ(Bild)」を通じての『ヴァーグナー試論』読解	平子 友長
アルザスにおけるフランス共和制の「問い直し」とヨーロッパの視点: 欧州地域語少数言語憲章をめぐる地域と国家	山崎 耕一
ミシェル・フーコーにおけるパレーシア-コレージュ・ド・フランス講義録読解-	古茂田 宏
ガダマーにおける「共なるもの」の射程	平子 友長
ハンナ・アーレントの同情について-同情論からみる世界の創設と維持-	古茂田 宏
ルソーの「起源論」再考-「起源」概念の検討を通じて-	古茂田 宏
メルロ=ポンティの視覚芸術論における可逆性について	古茂田 宏
携帯メールにおける言語行動の社会言語学的分析	中島 由美
中国における環境正義について-持続可能な発展へ-	岩佐 茂
コミックの社会言語学的分析-その特徴を言葉に見る-	中島 由美

人間行動研究分野

タイトル	指導教員名
誘惑する芸術作品	岡崎 彰
日本の国会議員におけるインターネット利用の実際-双方向型コンテンツ設置の規定因-	稲葉 哲郎
儀礼を作り上げる女性たち-韓国祖先祭祀のフィールドワークから-	石井 美保
クラシック・バレエにおける動きの修得過程	石井 美保
日本における「発声」の規律化-学校音楽教育を中心に-	岡崎 彰
ステレオタイプ抑制におけるリバウンド効果の低減可能性の検討-代替思考の利用しやすさに注目して-	村田 光二
ご成約の条件	大杉 高司
人類学的恋愛研究の可能性-米国におけるポリアモリーを事例として-	岡崎 彰
調査への自主的協力者の社会的・政治的犠牲についての検討-インターネット世論調査の誤差要因として-	稲葉 哲郎
ORIENTATIONS OF A TRADITION: TATOOING IN CONTEMPORARY JAPAN	岡崎 彰
マスメディアにおける地球温暖化問題の実証的研究-フレーミングとゲートキーピングに着目して-	御代川 貴久夫

人間・社会形成研究分野

タイトル	指導教員名
戦後日本における教育拡大と教育システム-教師たちによる専門> 職性の探求と進歩主義-	久富 善之
なぜ民社党は伸び悩んだか-日本における民主社会主義の意義と限界-	渡辺 治
地域に根ざした教育実践における教育目標づくり-1970年代の京都・川上小学校に着目して-	木村 元
学校選択と親の学校参加 千葉県松戸市の事例	中田 康彦
教育支援センター(適応指導教室)受け入れのメカニズム	久富 善之
日露戦争後における日本軍の社会的基盤の形成-地域社会の再編と統合-	吉田 裕

総合政策研究分野

タイトル	指導教員名
障害者雇用の現状と課題-特例子会社での人事管理の事例から-	林 大樹
1990年代以降の若年雇用問題についての一考察-「ニート」問題再考-	倉田 良樹
中小オーナー企業における同族経営の実態	倉田 良樹
市町村合併後の地域における全世帯加入型NPOの研究	林 大樹
定年退職者を中心としたシニアの地域社会活動参加に関する考察	林 大樹

歴史社会研究分野

タイトル	指導教員名
宮島大八の中国語教育とその目的	坂元 ひろ子

近世における民衆の旅と交流-林信海を事例に-	若尾 政希
日中戦争期の中国国民党下における台湾人の台湾解放イメージ-宋斐如の活動を中心として-	坂元 ひろ子
パンクーク時代の『メルキュール・ド・フランス』の政治報道	森村 敏己
ピューリタン革命期イングランドの第五王国派とメアリ・ケアリ	森村 敏己
オデッサのユダヤ人-19世紀のユダヤ人移民と都市形成-	土肥 恒之
「アイスランド人のサガ」における信仰の利用	阪西 紀子
天明伏見騒動と小堀家改易の物語-「圓阿んとう」から義民物語へ-	若尾 政希
都市騒動期のレンテ売買-14世紀後半のブラウンシュヴァイクについて-	阪西 紀子
20世紀初期ロスアンゼルスにおける日系コミュニティ	貴堂 嘉之
近世前期土豪と村落社会	渡辺 尚志
近世後期阿波の行き倒れ遍路と村-人々が対応した行き倒れ遍路の事例を手がかりに-	田崎 宣義

地球社会研究専攻

タイトル	指導教員名
子ども兵士-ビルマ、カレン族を事例に志願兵の姿を探る-	児玉谷 史朗
「越境する階層化」とポスト開発主義政府-フィリピンの移住労働者送り出し政策にみる政府の役割-	伊豫谷 登士翁
小網代の森における開発と保全問題の史的-考察	関 啓子
核燃料サイクル施設保有に向けた人々の動き-青森県六ヶ所村におけるジェンダーと子育ての問題を通じて-	関 啓子
アイヌ音楽伝承にみるサウンドスケープの変容と近代日本の「暴力性」-5つのスケープの分析を通して-	多田 治
現代トルコにおける世俗派とイスラーム政党の相克	内藤 正典
EU統合の可能性と限界	内藤 正典
性暴力の加害責任-売買春における性暴力についての-考察から-	宮地 尚子
電子複製技術の産業社会-日米舞台の製品系譜と動態-	伊豫谷 登士翁
大学生のデートDVに関する認識と性に対する態度との関連-実態調査を通して-	宮地 尚子
朝鮮の「民芸」-1920年代の『東亜日報』にみる柳宗悦の受容	足羽 與志子
ムスリム移民をめぐる現代ドイツにおける政教関係-宗教シンボル禁止法論争の展開とその争点	内藤 正典
日常のなかの写真実践、写真のなかの日常-現代日本の社会関係メディアとして-	落合 一泰
「n個の性」を巡る性別の政治-性同一性障害者取扱特例法の思想を読み解く-	宮地 尚子
「在日コリアンであること」-言語化出来ない個人の主観的な思いの持つ働き-	多田 治
COFFEE TOURISM IN ETHIOPIA: CULYURAL USES AND THE REGENERATION OF INDIGENOUS RESOURCES FOR RURAL DEVELOPMENT	児玉谷 史朗

2009年度

社会動態研究分野

タイトル	指導教員名
母子世帯における当事者組織の可能性についての実証的研究 -小規模グループの事例調査を中心に-	木本 喜美子
なぜ彼は自衛官になったのか -現代日本社会における自衛隊入隊の意味についての探索的考察-	木本 喜美子
音楽の大衆能動性から見る前衛から抵抗への一考察	多田 治
石垣島におけるお土産業界 -「地元民」と「移住者」の関係性-	多田 治
元日本兵の子どもたちの探求 -自分につながる戦争と向き合う人びと-	濱谷 正晴
「政治の季節」以後のシニズムの変遷について -雑誌『噂の真相』を中心に-	町村 敬志
諸制度の分析からみる市民社会の政治性 -ウルリヒ・ベック「サブ政治」概念への批判-	渡辺 雅男
移民と帰属 -滞日フィリピン女性の事例から-	伊藤 るり
進路選択とライフコースの物語 -高度成長期における女子定時制高校卒業生の語りから-	多田 治
身体の延長線としての沖縄独立系カフェ -相互承認と排除が織りなす複雑な空間-	多田 治
理容調髪技術の社会史 -業界と技術の生成に関する一考察-	多田 治
開発援助をめぐるジェンダー実践を通じた変化 -バングラデシュにおける女性織グループ活動を事例として-	伊藤 るり
<在日>その「語り」と「語り」をめぐる力学	佐藤 文香
部落出身者をめぐる現代の結婚忌避現象に対する一考察	渡辺 雅男
地域から読み解く観光現象の新たな展開 -西表島の事例から-	多田 治
高度人材としての「中間層」技術者の国際移動 -インド人技術者の日本への移動を事例として-	伊藤 るり
変貌する下町と地域振興策としてのアート-東京墨田区・向島地区の事例から-	小井土 彰宏
カザフスタンの働く母親の育児をめぐる実証的研究 -学齢前の子どもを持つ母親を中心に-	木本 喜美子

社会文化研究分野

タイトル	指導教員名
「精神現象学」における相互承認について	嶋崎 隆
マルクス『経済学・哲学草稿』における「商品としての労働者」	岩佐 茂
健康な症状としての夢 -フロイトによる不安夢の記述の検討から-	久保 哲司
トルコ語と日本語のバイリンガル児童の発話におけるコード切り替えの実際	中島 由美

人間行動研究分野

タイトル	指導教員名
過去にどう向き合うか -南アフリカ真実和解委員会の事例から-	児玉谷 史朗
ボツワナのHIV/AIDS政策と市民社会セクター -ウガンダとの比較を中心として-	児玉谷 史朗
ミャンマー都市部における瞑想実践に関する一考察 -マハーシ瞑想センターを事例として-	石井 美保

我らの内なるトーマス -「血液型性格関連説」再考-	岡崎 彰
制御資源の枯渇と食物新奇性恐怖が新奇な食べ物の評価に及ぼす影響	村田 光二
「開拓」と庄内地区	岡崎 彰
モノとの距離が語る感覚 -1960-70年代と現代日本のラバー・フェチの言説比較-	大杉 高司
状況への適応、不問、再編 -意味論的転回以降における人工物と社会-	安川 一
HIV/AIDSに付随する社会的排除とその克服の試み -ケニア・ニャンザ州農村部における住民組織と社会関係を中心に-	児玉谷 史朗
南部スーダンにおける重層的な(歴史)構成 -ヌエルの「予言の成就」をめぐって-	岡崎 彰
国民の終焉と欲望の創造-ポスト社会主義ルーマニアにおけるジプシー音楽マネレをめぐって-	岡崎 彰
心理学において「ナラティブ」は何を掴みうるか -ジェローム・ブルーナーのナラティブ概念の再構成を通して-	安川 一
「サバル」という構え -インドネシア・ジョグジャカルタにおける「鳩遊び」-	岡崎 彰

人間・社会形成研究分野

タイトル	指導教員名
プロスポーツにおける地域密着と社会貢献 -Jリーグの活動に焦点を当てて-	坂 なつこ
戦後日本の再軍備とその実態 -募集制度から見た戦後日本の防衛組織像-	吉田 裕
東京裁判と日本海軍	吉田 裕
福祉国家再編期における就労と福祉をめぐる政策形成-戦後日本の公的職業訓練と「若者自立・挑戦プラン」-	加藤 哲郎
河合栄治郎の自由主義論 -第一次大戦後日本における社会的自由主義の受容の特殊性-	吉田 裕
近代日本における陸軍軍楽隊 -戸山学校研究試論-	木村 元
教師の精神疾患による休職と職場復帰への過程	中田 康彦
朝鮮戦争と日米安保体制	吉田 裕

総合政策研究分野

タイトル	指導教員名
製造業派遣・請負労働市場の考察-流動的労働を可能にする労働者の「半自立」状態-	西野 史子
首都圏郊外における大手不動産デベロッパーによる地域づくりと住民の参画	林 大樹
日本の地域福祉の原型	高田 一夫
若年正社員の厳しい就労環境と正社員モデルの多様化 -チェーンストア就業者を事例に-	倉田 良樹
協働型管理公園における住民ボランティアの自発性の研究 -目黒区と北区の都市公園の事例から-	林 大樹
公的給付を担うアソシアシオンの役割-フランスにおける生活困難者支援の例-	林 大樹
企業組織のなかの技術者と技術-日本の半導体産業を事例として-	倉田 良樹
共同受注グループの協力・協調のしくみに関する研究 -長野県諏訪地域の四つの事例から-	林 大樹

一人暮らし高齢者支援の仕組みに関する考察 -地域包括支援センターが中核となる高齢者見守り支援ネットワークについて-	高田 一夫
子どもの遊びにおける面白さと、それを通して見る遊びの構造-国分寺市プレイステーションを対象として-	林 大樹
若者ホームレスの現実 -意欲の貧困(discouraged)を超えて-	林 大樹

歴史社会研究分野

タイトル	指導教員名
朝鮮人学徒兵と解放後韓国軍創設との関連について	糟谷 憲一
中世アイスランド「自由国」時代における首長権とノルウェー王権	阪西 紀子
解放後南朝鮮における呂運亭の政治活動	糟谷 憲一
一九三〇年代朝鮮における港湾都市「開発」の展開 -咸鏡北道羅津を事例に-	糟谷 憲一
近世前期岡山藩の軍法とその作成過程	若尾 政希
人権と市民権のはざままで -第二次世界大戦直後における「人権」を巡る国際政治とアメリカ黒人運動-	中野 聡
幕末遠州における由緒意識の形成と地域社会	渡辺 尚志
1840年代アメリカにおけるワシントン禁酒運動 -自己改善の手段としての禁酒-	貴堂 嘉之
啓蒙のヌーベルキュイジーヌ -18世紀フランスにおける料理と健康をめぐる-	森村 敏己
レコード検閲制度からみる昭和初期文化統制政策の考察	田崎 宣義

地球社会研究専攻

タイトル	指導教員名
「生」の理解としての女性研究へ-韓国海女研究の到達点と課題-	落合 一泰
シエラレオネの紛争と若者 -フリータウンのラストファリ運動を事例として見る復興についての考察-	足羽 與志子
「多文化共生」を再考する -在日フィリピン人母子家族と日本人ボランティアの「繋がり」の場-	伊豫谷 登士翁
英国ブレア政権下におけるテロ対策 -「他者」の形成と差別に着目して-	内藤 正典
分権化後インドネシアにおける民主的ガバナンスと市民社会	児玉谷 史朗
初等・中等教育領域に参入する「多国籍企業」と開発 -「協働」を通してグローバル展開するKUMONを事例として-	児玉谷 史朗
「満州」のオーケストラ -ハルビン交響楽団を事例として-	足羽 與志子
移民と呼ばれる他者 -住居から移民を再考、フランスを事例に-	伊豫谷 登士翁
「難民」と<難民> -庇護の付与と享受を巡る難民像の考察-	伊豫谷 登士翁
「祝福か、呪いか-ケアンズにおける観光推進」	伊豫谷 登士翁
「病院長」という人々	宮地 尚子
歴史的環境を活用する地域づくり -公開をめぐる課題と展望-	関 啓子
パレスチナ自由劇場と政治的抑圧-「物語り」へのフィールド・ワーク-	内藤 正典
日本、アメリカ、中国のヤマハ音楽教室 -文化のグローバリゼーション論検証-	足羽 與志子

「不就学」から日本の教育と社会を問い直すー浜松のブラジル人の子どもたちのケーススタディからー	関 啓子
MEASURES TO COMBAT HUMAN TRAFFICKING: FOCUSING ON DEMAND	ジョナサン・ルイス
中国青年層における日本アニメと対日感情の相関性の考察	足羽 與志子
中国における生涯教育としての環境教育ー「緑色社区」を事例としてー	関 啓子
TOWARDS BUILDING ASIA REGIONAL LITERATURE: A STUDY CASE ON THE TRANSLATION- PUBLICATION PROGRAMS OF THE TOYOTA FOUNDATION AND DAIDO LIFE FOUNDATION	ジョナサン・ルイス
OVERCOMING BARRIERS TO INTERNATIONALIZATION IN CREATIVE INDUSTRIES: LEARNINGS FROM THE JAPANESE COMIC BOOK INDUSTRY	ジョナサン・ルイス
占領と希望ー奄美諸島の事例からー	伊豫谷 登士翁

2010年度

社会動態研究分野

タイトル	指導教員名
鳥獣保護政策の転換と「自然の社会化」ー野生動物保護管理の制度化を事例としてー	町村 敬志
小学校女性教員の就労継続に関する研究ー1950~60年代の日教組婦人部「産休代替法」制定運動を中心にー	木本 喜美子
気候変動言説空間の形成過程ー日本の「環境社会」化は進むのか?ー	町村 敬志
滞日バングラデシュ移民のエスニック・ビジネスーバングラデシュ・エスニック・レストランの機会構造とエスニック戦略ー	小井土 彰宏
了解の埒外からーインド共和国タミルナドゥ州ナガパティナムにおける「2004年インド洋津波」による喪失体験の現実分有形態ー	町村 敬志
在留資格「興行」をめぐるポリティクスー「フィリピン女性エンターテイナー」を中心にー	伊藤 るり
フィリピン・マルコス戒厳令体制期における工業化政策の挫折と農村の階級構造	渡辺 雅男
川崎市における在日韓国・朝鮮人コミュニティと市民活動ー1970年代から現在までの推移と変化ー	伊藤 るり
小学校高学年の子どもを持つ家族の教育戦略ー子どもの生活時間管理に注目してー	渡辺 雅男
非決定性空間の権力地図ー沖縄県東村高江における米軍基地建設に反対する住民の座り込みを通してー	町村 敬志
公的投機によるエスニック・エコノミー拡大とフォーマライゼーションの関係ーミネアポリス市における移民ビジネスの展開から	小井土 彰宏
台湾における未婚女性の語られ方についてー「負け犬」言説の変容ー	佐藤 文香
CONSTRUCTING IDENTITIES: CASE STUDIES OF JAPANESE-FILIPINO YOUTH IN JAPAN (アイデンティティーズを構築する: 在日ジャパニーズ・フィリピン・ユースの事例から)	伊藤 るり
多国籍企業の中国における人事戦略	小井土 彰宏
社会転換期における中国社会階級・階層構造の変動についての考察ー新階層の変動過程を中心にー	渡辺 雅男
韓国女性軍人に関する研究ー軍隊にとどまる・離れる要因を中心にー	佐藤 文香
ピーター・バーガーにおける「信仰の社会学」ーその世俗化理論と神学論の変遷を中心としてー	深澤 英隆

社会文化研究分野

タイトル	指導教員名
ヘーゲル『精神現象学』における端緒と他者	岩佐 茂
儒教思想における理想的な社会及び仁の本質—孝と礼の徳目及び君子の特質から—	嶋崎 隆
ワイマール期におけるパウル・ティリッヒの宗教社会主義思想—宗教論から理論、そして「実践」へ—	平子 友長
ミシェル・フーコー「侍女たち」をめぐって	平子 友長

人間行動研究分野

タイトル	指導教員名
社会的表象理論における「共同的なもの」	安川 一
普遍化される「子ども達」—「想像の仲間(I. C.)」に関する人類学的考察—	岡崎 彰
処理の負荷下におけるステレオタイプ不一致事例の仕切り出し—事例の示差性が与える影響—	村田 光二
投資モデルを用いた携帯電話からのmixi利用の分析	稲葉 哲郎
妬みと羨ましさの生起を分ける要因の検討 —獲得可能性に注目して—	村田 光二
「普及感」の形成に影響を及ぼす要因の検討 —私たちはどのように流行を認知しているのか—	稲葉 哲郎
米軍基地がもたらしたもの—基地の集落(シマ)の民族誌—	大杉 高司
近代交通の潜在能力と移動-不動性 —モティリティとしての交通機関にかんする人類学的研究への試論—	大杉 高司
市場におけるモノと人の混淆 —東京都の—公設市場を事例に—	岡崎 彰
多数選択肢場面における反実思考が選択後後悔と満足度に及ぼす影響の検討	村田 光二

人間・社会形成研究分野

タイトル	指導教員名
アジア・太平洋戦争における日本の宣伝戦 —大日本言論報国会を中心に—	吉田 裕
学校教育における「環境のための教育」—大森実践と行動主体形成—	関 啓子
日本語教師の専門性 —現場での異文化間調整能力に着目して—	関 啓子
戦時期における女性スポーツ —国家政策とスポーツ界のとりくみを中心に—	坂上 康博
専門学校教育の成立構造—非資格系学科の授業における知識伝達の内容・プロセス・促進要素に注目して—	木村 元

総合政策研究分野

タイトル	指導教員名
新住民と旧住民の「共同関係」に関する研究—過疎山村における移住者受け入れを事例に—	林 大樹
フランス医療保険制度における医師の階層性分析研究	高田 一夫
薬剤師の社会的意義 —薬学教育改革における医療薬学の受容—	猪飼 周平
職場と家族をめぐる父親のジレンマとそののりこえ —男性の育児休業経験者を事例に—	高田 一夫

大都市型産業集積における地域工業団体の今日的意義－東京都大田区K会の事例から－	林 大樹
重度身体障害者の生活における「ノーマライゼーション」研究	高田 一夫
戦後復興期における労働教育政策の研究－労働省による労働教育に着目して－	林 大樹
登録型事務系派遣職員の職務構造－機能的柔軟性に着目して－	西野 史子
中国における自発的な市民参加に関する考察	林 大樹
NPOにおけるキャリア形成の基礎的研究 ー事業型NPO法人職員の主観に着目してー	林 大樹

歴史社会研究分野

タイトル	指導教員名
近世後期関東在方町における「住民」と社会組織 ー下総国香取郡佐原村を事例にー	渡辺 尚志
1930年代末期、中国における戦地記者 ー浙江省戦時新聞学会の研究ー	坂元 ひろ子
民衆暴動の記述についてーラディズム(1811-13年)の場合ー	秋山 晋吾
妖怪学の源流ー英国心霊研究協会との比較におけるー考察ー	田崎 宣義
「よみうり婦人附録」の全容とその意義	田崎 宣義
中世アイスランド社会における予言者	阪西 紀子
明治期の輸出陶磁器から見る、森村組の商業的成功理由について	森村 敏己
戦時下朝鮮における国語普及政策(1936-1945) ー「皇民化」政策の一側面ー	糟谷 憲一
近世後期北奥の中間層ー淵澤圓右衛門の思想形成ー	若尾 政希
アメリカ合衆国黒人向け教育機関における軍事教育 ー20世紀前半のタスキーギ学院を中心ー	貴堂 嘉之
アイルランド系アメリカ人のナショリズム ー19世紀中頃のフィニアン運動を例にー	森村 敏己
20世紀転換期アメリカ南部社会における黒人リンチの表象ーリンチの公開と記録に関するー考察ー	貴堂 嘉之
「アイスランド人のサガ」と十三世紀アイスランド社会の関係 ー『ニヤールのサガ』を一例としてー	阪西 紀子

地球社会研究専攻

タイトル	指導教員名
石垣島における環境の語りと実践に関する社会学的考察ーその複雑性を捉えるー	多田 治
フェアトレードに関するー考察ー市場を通じた途上国生産者支援の動向ー	児玉谷 史朗
第五世代とは何者か？ ー中国の現代化の過程において第五世代言説が狙った役割ー	伊豫谷 登士翁
“スペインで革命・内戦・独裁期弾圧の過去と向き合うーあるアストゥリアス女性の生活史のこころみー”	宮地 尚子
地域包括ケアを再考する ー30～40歳代の難病の人々を事例にー	宮地 尚子
チャイナ・タウンのイメージ形成ー公民権運動期以降の社会変容に着目してー	伊豫谷 登士翁
日本の中学校における愛国心教育の現状:ー考察と展望	関 啓子
日本文化に向き合うこと ー日本土産と国際観光にみる日本文化の複雑性ー	多田 治

日本版マイクロファイナンス —その可能性を探る—	児玉谷 史朗
育てる技術と地域コミュニティ —戦後群馬県の養蚕業から—	足羽 與志子
横浜イメージの生成と変遷—女性・行政・メディアを軸として—	多田 治
ボランティアツーリズムの興隆—その現状と課題—	落合 一泰
イングランド・ウェールズにおける水道料金制度の変遷	ジョナサン・ルイス
「チベット問題」とチベット人難民をめぐって	ジョナサン・ルイス
越中八尾、祭り与人びとの実践の地平から—「他者」としての理解へ向けて—	落合 一泰
ボトムアップ・マルチカルチュラルリズム	伊豫谷 登士翁
インターナショナルスクールに通ったことの意味—国際的になったということと結んで—	落合 一泰
経験と語り —ウィーン大学日本学専攻学生の日本「留学経験」をめぐって—	落合 一泰
医師の感情労働 —日本の総合診療医を対象とした調査より—	宮地 尚子

2011年度

社会動態研究分野

タイトル	指導教員名
在米ソマリア人コミュニティにおけるエスニックな連帯と断片化した連帯 —紛争の記憶とテロ対策に対する恐怖から断片化した連帯の考察—	小井土 彰宏
労働組合加入による規範意識の変化 —流通業界における規制緩和を題材に—	木本 喜美子
日本のオタク達の消費形式に関する考察 —オタク文化の歴史的背景や文化的特徴に注目して—	小林 多寿子
在日フィリピン女性はなぜケアワーカーになるのか —社会的地位をめぐる交渉の諸相—	伊藤 るり
新たなセクシュアルマイノリティ運動の課題 —「非当事者」との協力—	木本 喜美子
E・H・カーの歴史認識における「進歩」と「工業化」 —民族自決主義批判を中心に—	渡辺 雅男
逃れた先で生きる —日本に暮らすビルマ出身難民の就労実態—	伊藤 るり
「平成の大合併」期における都道府県の役割 —千葉県東葛飾地域の事例を中心に—	町村 敬志
「まちづくり」の論理 —東京・西荻窪における70年代以降の変化を事例に—	町村 敬志
大卒正社員総合職の初期キャリア形成とジェンダー —製造業から見る「典型キャリア」	木本 喜美子
フランスにおける言語運用能力の教育目標とリセの大衆化 —リセ第2級フランス語の学習指導要領と教科書を手がかりに—	小林 多寿子
現代若者がつくる「家族」のゆくえ —非正規雇用で働く未婚者に注目して—	木本 喜美子
新生活運動と戦後家族	渡辺 雅男
素朴な反逆者たち —上関原発建設に反対する祝島の住民運動を通して(1982～2010)—	町村 敬志

社会文化研究分野

タイトル	指導教員名
シュティルナーの思想	平子 友長

マルクスにおける人間主義	平子 友長
G.ジンメル『貨幣の哲学』における社会と個人の生活	平子 友長
「中華民国台湾化」の中の原住民族運動	洪 郁如
マルクスにおける近代批判としての「共同体」論 —『経済学批判要綱』資本主義的生産に先行する諸形態—	平子 友長
社会進化論をどう理解するか —方法の応用としての社会進化論、W.G.サムナーを例に—	井頭 昌彦
奄美沖永良部島におけるオノマトペの言語地理学的研究	中島 由美
『女学雑誌』における女性の職業と学問の意義をめぐる議論	平子 友長

人間行動研究分野

タイトル	指導教員名
不安は意見表明の意図を高めるのか？ —不安が沈黙の螺旋にもたらす影響の探索的検討—	稲葉 哲郎
悲しみを伴った感動の生起要因に関する実証的検討	村田 光二
健康メディアキャンペーンと行動変容 —会話による個人規範の認知に着目して—	稲葉 哲郎
インドネシア政治におけるイスラームの影響力 —投票行動とイスラーム団体の分析を通じて—	浅見 靖仁
ノスタルジアが自己連続性に与える影響 —音楽によって喚起されたノスタルジアを用いた検討—	村田 光二
「マージナル」な人々の主体構築についての考察	岡崎 彰

人間・社会形成研究分野

タイトル	指導教員名
専門学科における教育困難校の職業選択機能 —工業高等学校教師の就職指導実践に関する考察—	木村 元
開かれた学校づくりにおける学校経営に関する一考察 —学校長のリーダーシップに着目して—	中田 康彦
日本プロ野球における外国人枠の変容 1951-2003年	坂上 康博
1930年代における女性の政治主体形成 —選挙肅正運動、公民科に見る女性と「公民」—	吉田 裕
立憲民政党と経済政策 —一九二七～一九三二年—	吉田 裕
米国の双方向バイリンガル教育 —リテラシー論議から考察する同教育の社会的意義と課題—	中田 康彦
定時制高校のエスノグラフィー —「学校に<可能/不可能>なこと」と生徒の仕事—	山田 哲也
教育委員会における政策決定の力学と公教育統治 —犬山市教育改革を事例研究に—	中田 康彦
1960年代の日本における外国語教育運動と外国語教育の四目的	中田 康彦

総合政策研究分野

タイトル	指導教員名
1990年以降の沖縄県における県外短期就労 —送り出しシステムと就労者の関係に注目して—	倉田 良樹

非正規雇用の就労化を伴う所得保障政策への考察	高田 一夫
非正規労働者の収入と老後所得確保についての分析 —公的年金を中心に—	高田 一夫
中国農村部における高齢者介護の政策的展開に関する研究 —山東省煙台市、蓬萊市を研究事例として—	高田 一夫
地域包括支援センターにおける地域支援ネットワークの構築に関する考察	猪飼 周平
高齢者介護施設における介護職員の雇用安定阻害要因の解析とその対応 —施設長の人材マネジメントと介護職員の関係に焦点を当てて—	倉田 良樹
行政保健師活動の変容 —川崎市と大田区における保健師活動の比較—	猪飼 周平

歴史社会研究分野

タイトル	指導教員名
処刑改良 —首吊り縄から電気椅子へ、ニューヨーク州、1885年-1914年—	貴堂 嘉之
「コリアン・レポジトリ」からみる開港期朝鮮社会 —1892~1895—	糟谷 憲一
刑務所をめぐる改革運動とその意義 —19世紀中葉から世紀転換期のアメリカ—	貴堂 嘉之
中近世移行期における伝馬制度と地域社会	渡辺 尚志
十九世紀後半の寄席と講談 —江戸・東京を例に—	若尾 政希
11世紀西欧における聖体と「キリスト教共同体」の概念 —「ベレンガリウス問題」における聖体論—	阪西 紀子
近世真宗の異端的教説と「正統」 —尾張五僧の事件を事例に—	若尾 政希
友愛協会を問い直す —イギリスのアソシエーションをめぐる表象と権力—	森村 敏己
地方改良運動の展開に関する一考察 —なぜ地方改良運動は成果を上げられなかったのか—	渡辺 尚志

地球社会研究専攻

タイトル	指導教員名
「放浪」と国民国家 —フランスにおける「移動生活者」の「社会統合」を事例に—	関 啓子
北京市におけるごみ問題の現状と市民の環境意識について —日本との比較を通して—	御代川 貴久夫
不況以降の在日ブラジル人コミュニティと家族の変化 —四日市を事例として—	伊豫谷 登士翁
地域づくり活動における消費的参加者と変容可能性 —大分県別府市のオンパク活動の事例から—	多田 治
文化としての有機農業 —山形県高畠町の実践—	足羽 與志子
大学生のTwitter利用に関する定量分析 —利用目的とサービス設計の関係—	ジョナサン・ルイス
外国につながる子どもたちの進学支援 —多様な学びの場の形成に向けて—	関 啓子
生き残りをかけた地域の戦略 —白馬からハクバへ—	伊豫谷 登士翁
マイクロファイナンスの持続的運営における事業形態 —フィリピンにおけるCARDグループの事例から—	児玉谷 史朗
日本映画における「他者」表象	伊豫谷 登士翁
中国の少数民族教育と言語政策 —新疆ウイグル自治区におけるカザフ族二言語教育を通じて—	関 啓子

インターネットにおけるプライバシー問題から見るネット社会 —中国のインターネット社会を事例に—	多田 治
---	------

2012年度

社会動態研究分野

タイトル	指導教員名
ロバート・パークによる科学としての社会学の確立 —人種関係の効率的な管理を目指して	小井土 彰宏
生殖補助技術の孕む倫理的・法的・社会的問題—非配偶者間人工授精で生まれた当事者の語りから—	小林 多寿子
「2世信者」の脱教団化とオルタナティブのゆくえ —新宗教2世のライフ・ヒストリーからみる再帰性としての世俗化—	深澤 英隆
パキスタン、イギリス、二つの生活世界のはざままで —第二世代パキスタン系ムスリム女性の結婚形態の変容とダイナミズム—	小井土 彰宏
非自発的帰還移民の生活の再構築プロセス —メキシコ市大都市圏大衆居住区ネサワルコヨトルに生きる帰国者たちの事例研究	小井土 彰宏
ヴィクトリア朝におけるファッションの成立 —『パンチ』誌から読み解くサーヴァントのファッションへの包摂	町村 敬志
「風俗嬢」たちのスティグマへの対処方法	伊藤 るり
大塚久雄におけるマックス・ヴェーバー研究 —キリスト者と近代主義者としての大塚久雄—	深澤 英隆
「無縁社会」論再考	町村 敬志
日本の海外旅行における観光のまなざしについての一考察 —「地球の歩き方スリランカ」(1990-2011)の変遷をもとに	多田 治
〈世俗の時代〉のカトリシズム —チャールズ・テイラーの(多元主義)と神学—	深澤 英隆
小売業トラック運転手の過労はなぜ生じるのか	木本 喜美子
重層する都市とウェブ—来街者のイメージマップとモバイル端末利用の分析から—	町村 敬志
日本のキリスト教幼児教育の理論と教師の教育理解—教師へのインタビューから—	深澤 英隆
都市近郊農村住民の描く農村像 —「小さな開発」が育つ場所「農業県・茨城」における就農者の、風景解釈の変容—	町村 敬志

社会文化研究分野

タイトル	指導教員名
ジュネーヴ人の『社会契約論』受容 —刊行直後の書簡分析から	山崎 耕一
戦後日本における「ロシア民謡」の受容と変容	中島 由美
ヘーゲル『精神現象学』における欲望の問題	大河内 泰樹
「啓蒙の弁証法」における物象化	大河内 泰樹
シェリング『力動的過程の一般演繹』における力動論 —「物質の構成」の三つのモメント	大河内 泰樹
宮古群島方言におけるnja:N構文の研究	中島 由美
ルソーにおける本性的善性論	森村 敏己

人間行動研究分野

タイトル	指導教員名
サッカーサポーターズクラブの熱狂に関する研究 —質的調査による探索的検討—	稲葉 哲郎
事件の脅威性が量刑判断の手がかり情報の優先性に与える影響	村田 光二
土俵の東、監査の西 —大相撲における称序の方法と「アカウントビリティ」—	岡崎 彰
敬虔なムスリムと「近代性」 —世俗主義批判としてのイスラームの人類学とその射程	春日 直樹
アニミズムとしての生物学—擬人主義の歴史的変遷から見た自然／文化の二元論—	大杉 高司
大阪と愛知の首長を新聞はどう報じたか —社説の内容分析を通じて—	稲葉 哲郎
ガーナ沿岸部の漁業における取引の変化 —中央州ケープコースト周辺の事例を中心に—	春日 直樹
政治的会話はより良い民主主義に貢献するか？—政治的会話が有権者の政治意識および行動に及ぼす重層的効果—	稲葉 哲郎

人間・社会形成研究分野

タイトル	指導教員名
受験雑誌『蛍雪時代』の研究—1950年代後半の転換期に着目して—	木村 元
昭和戦前期の石油政策 —国家統制体制の形成と燃料戦備	吉田 裕
短期大学における教養教育と専門教育の両立をめぐる問題—サービスラーニングの担い手による意味付けの差異に注目して—	木村 元
授業秩序維持のための教師戦略—教師の「応答/非応答」行為に着目して	山田 哲也
三里塚闘争史論 —支援勢力と運動主体としての「住民」像—	吉田 裕
戦前・戦時期の日本におけるアメリカンフットボールの受容過程	坂 なつこ
大学キャリアセンターと学生の就職アスピレーション —Cグループ大学における就職活動プロセスに着目して—	山田 哲也
「祖国振興」の戦争 —戦時期宮崎県における国民の組織化・動員	吉田 裕
在日中華学校における華僑教育の展開—戦後横浜山手中華学校の教科書分析を中心に—	木村 元

総合政策研究分野

タイトル	指導教員名
インクルージョンの社会的意義—学校教育における障害児への排除から包摂へ—	猪飼 周平
老人処遇を規定する社会観念の変動 —1945～1968年における老人処遇の実証研究から—	猪飼 周平
介護労働者の賃金の実態と人事管理の対応	高田 一夫
正社員の年次有給休暇取得行動 —仕事特性・個人特性と年休制度利用—	西野 史子
戦後日本における開業医による病床所有	猪飼 周平
日本における高齢者の自殺	猪飼 周平
IT労働者の「取引・配置・運用」に関する実証研究—情報サービス産業の下流工程における「職務」に着目して—	西野 史子
日本企業における外国人ホワイトカラーの雇用管理 —「雇用形態」に着目して—	西野 史子
中国都市部における住民自治組織に関する研究 —北京市社区を事例に—	林 大樹

歴史社会研究分野

タイトル	指導教員名
顧頤剛の中華民族論について —1930年代後半を中心に—	坂元 ひろ子
グアムにおける戦争の記憶と戦後補償のつながり—先住民チャモロの視点を中心に—	中野 聡
近世富士山御師の社会構造的な研究	渡辺 尚志
近世後期、高取藩医における西洋医学の受容と実践—「石川玄林・下川邊宗伯蘭医学寫本之一」を中心に—	若尾 政希
19世紀後半の慈善と労働倫理についての考察—クリーブランドYMCAの鉄道労働者向け福利厚生事業を中心に—	中野 聡
1906年のサンフランシスコにおけるチャイナタウン移転計画	貴堂 嘉之
近代中国東北地方の農業労働者(雇農)と村落社会	佐藤 仁史
近世後期における江戸幕府奏者番の基礎的研究—天保11年の青山幸哉と牧野節成の日記を中心に—	若尾 政希
金原明善の《偉人》化にみる近代日本	若尾 政希
18世紀末ボヘミア南部ビュクワ伯所領における社会事業 —「貧民施策」を事例として	秋山 晋吾
アメリカ赤十字社と「看護師」 —第一次世界大戦期を中心に	貴堂 嘉之
植民地朝鮮における地方古蹟保存会について —慶尚北道慶州の「慶州古蹟保存会」を中心に—	糟谷 憲一
明治期旧松代藩藩士生計を巡る研究 —真田家家従依田稠美を中心として—	若尾 政希

地球社会研究専攻

タイトル	指導教員名
パレスチナ／イスラエル問題における国際援助 —援助の意図と経緯の考察—	足羽 與志子
母乳育児支援の一考察 —富山県の事例を中心に	多田 治
核実験地に住む：カザフスタン・セミパラチンスク住民の証言から	落合 一泰
アメリカとアメリカ人の境界 —アメリカ合衆国市民権をめぐる法的議論から—	落合 一泰
「北島」椰子林の記憶を手入れする —ある朝鮮人の生きたマリアナ諸島植民地—	多田 治
駐在員妻を生きる人たち —妻たちの実態から見るライフデザインの描き方—	宮地 尚子
公共空間における芸術活動についての考察 —都市でのアートプロジェクト実践の地平—	足羽 與志子
情報環境の歴史的・思想的な研究 —「ハッカーカルチャー」を中心に—	ジョナサン・ルイス
イラク戦争米軍脱走兵の「難民化」がもたらしたもの	宮地 尚子
音楽×ダンスの場 —CLUB と DANCE PARTY—	マイク・モラスキー
生涯学習社会における成人の学びの役割 —デンマーク フォルケホイスコーレを通して	落合 一泰
福島第一原子力発電所事故における避難自治体の被害構造に関する研究	多田 治
子どもによる映像制作における一考察 —成立条件と学びの工夫—	ジョナサン・ルイス
異質でいる自由 —障害者プロレスにみる社会的「弱者」と「強者」の均衡から—	宮地 尚子
YouTubeエコロジー：日本、アメリカ、イギリスにおけるYouTubeの比較研究	ジョナサン・ルイス

2013年度

社会動態研究分野

タイトル	指導教員名
日本におけるロシアからの高度専門職移民の就労状況	小井土 彰宏
ノンエリート青年はなぜ声優を目指すのか—声優スクール進学者へのインタビューを通して—	木本 喜美子
ラヴィダシアはなぜ名乗るのか—移民社会で経験される信仰とカーストの構造—	小井土 彰宏
アートと空間の出会い —作品としての時間を生み出し続ける空間の構成を考える—	町村 敬志
THE EFFECTS OF BUMIPUTERA POLICY ON MALAYSIAN TERTIARY EDUCATION: FOCUSING ON THE CASE OF MALAY STUDENTS	伊藤 るり
フェアトレードと公的なもの —熊本市フェアトレード・シティ運動参加者の思想—	町村 敬志
興奮と冷静のセクシュアル・ストーリー—アダルトゲームへのポルノグラフィ批判から見えること—	小林 多寿子
すまいを拡げるくらし—青ヶ島での生活の実践と場所を拡充することの解釈—	町村 敬志
ライフストーリーからみる現代「お嬢さま」の「家」の再生産戦略	小林 多寿子
戦後日本社会における人種編成の社会学的考察 —「ハーフ」・「ミックス」のライフストーリーに着目して—	伊藤 るり
村上重良と「国家神道」論	深澤 英隆
ジェンダー化された環境としての「エリート」男子校 —OBの語りからみるジェンダー形成と境界への意味づけ—	小林 多寿子
戦後社会運動における知識人の「語りかけ」の問題 —国民文化会議を事例として—	町村 敬志
沖縄系南米人とトランスナショナルなコミュニティの生成 —横浜市鶴見区の複層的なネットワークを事例に—	伊藤 るり
性科学の言説と「女子同性愛者」の主体化—戦後から1950年代における日本の性風俗雑誌の言説分析—	木本 喜美子
東京都夜間中学における学齢超過ニューカマーと公教育—双方向的実践による権力テクノロジーの再編—	伊藤 るり

社会文化研究分野

タイトル	指導教員名
ノルベルト・エリアスの「文明化の過程」における「知識」の理論	平子 友長
ヘーゲル『大論理学』における量に関する研究	大河内 泰樹
イヴァン・イリイチのエコロジー論	平子 友長
ヘーゲルの契約論	平子 友長
1873年パリ国際オリエンタリスト会議における「日本」像 —テーマ「日本」を選んだ大会—	森村 敏己
ウーマン・リブの生命思想—1970年代の日本における中絶議論を通して—	井川 ちとせ
高校生の強調語彙におけるウチナーヤマトウグチの社会言語学的研究	中島 由美
カントの多元主義的趣味判断とその原理 —「判断力批判」における演繹問題—	加藤 泰史
レヴィナス『全体性と無限』における倫理的主体の定立	大河内 泰樹

人間行動研究分野

タイトル	指導教員名
異言を生きる人びと—東京都のペンテコステ教会を事例に—	岡崎 彰
新商品開発場面における、創造的アイデアの創出について —視点取得と内発的動機づけが創造性に及ぼす影響—	村田 光二
テレビ視聴が障害者に関わる現実認識に及ぼす影響	稲葉 哲郎
社会階層認知が援助行動に及ぼす影響 —苦痛の明確さの調整効果—	村田 光二
境界を作り、超えてゆくこと —ブラジリアン柔術興隆と魅力の源泉—	大杉 高司
企業の環境配慮行動と環境教育—環境報告書の分析をとおして—	御代川 貴久夫
冗談と批判の間—相互に形成する韓国諷刺コメディと社会—	岡崎 彰

人間・社会形成研究分野

タイトル	指導教員名
コミュニケーション能力による配分原理の意識構造	山田 哲也
ジャック・シラクのリーダーシップとフランス右派政党の再編過程(1988-1995年)—ド・ゴール主義から中道右派へ—	田中 拓道
課題集中校の可能性—その構造的背景と実践の持つ意義—	山田 哲也
1950年代の青年をめぐる課題と青年学級—岐阜県の『青年読本』に注目して—	木村 元
日本の<余暇政策>における2つの余暇善用論 —福祉的観点からの余暇環境整備と新たな産業としての注目—	坂 なつこ
スポーツ活動を可能とさせる要因とは何か—障害者のスポーツ活動実践から—	鈴木 直文

総合政策研究分野

タイトル	指導教員名
介護労働者はなぜ職場を離れるのか—人材確保の観点から—	林 大樹
民間委託問題 —学校用務員を事例に—	林 大樹
日本における不妊治療—不妊治療利用者の受診動機—	猪飼 周平
中堅企業における新規大卒者採用活動の社会学的研究	倉田 良樹

歴史社会研究分野

タイトル	指導教員名
近世の村、地域と八王子千人同心	渡辺 尚志
16世紀ヴェネツィア大使の外交業務における情報収集の手段とその利用	阪西 紀子
東アジア地域秩序の観点から問う東アジア地域統合議論—自律的地域秩序の「喪失」—	中野 聡
「戦後」の諸形態—一九七五年の昭和天皇訪米に関する社会史的考察—	貴堂 嘉之
1910年から1920年代イタリアにおける「イタリア南部の利益のための国民協会」の民衆教育実践とアソシエーション	秋山 晋吾
アメリカ合衆国の「記念言説」と北欧系移民の自己形成—ニュースウェーデン入植記念祭と人種主義—	貴堂 嘉之

備中松山藩の藩政改革	若尾 政希
司教アントーン・トリストの巡察－17世紀フランドルの村人たちとカトリック教会－	阪西 紀子
再帰する植民地知－フィリピン委員会における植民地認識と制度1899-1903－	中野 聡
戦国期における在地領主権力と地域社会	渡辺 尚志
戦後日本の出入国管理政策 —大村収容所の成立を事例に—	中野 聡

地球社会研究専攻

タイトル	指導教員名
持続可能な共同森林管理(JFM)にむけて —インドの州のJFM事例の考察—	御代川 貴久夫
「万人のための教育」とは誰による運動か?: ケニアとウガンダにおける基礎教育普及の政治学に関する比較研究	児玉谷 史朗
「女性の分断」とFC/FGM研究 —「アフリカと欧米の女性の対立」を分解するための考察—	児玉谷 史朗
元子ども兵の社会復帰—元少女兵「チャイルド・マザー」に注目して—	宮地 尚子
文化大革命期の広東省における都市と農村に対する—考察—1971年までの密航者へのインタビュー史料を中心に—	足羽 與志子
ある演奏家のレニングラード封鎖下の生—《交響曲第7番》レニングラード初演によせて—	宮地 尚子
スターバックスジャパン ブラックエプロン —大会付属型社内資格制度の存立形態—	多田 治
環境問題における都市論の再考	御代川 貴久夫
世界遺産・平泉の観光イメージ研究—歴史的オーセンティシティの表出と、それをめぐる社会的諸問題—	多田 治
エイズ薬アクセス問題をめぐるアクターと国際規範の変遷 —エイズ薬d4Tの特許緩和を事例として—	福富 満久
第1.5世代・第2世代青年の進路選択—在日ペルー人青年の事例から—	太田 美幸
現代日本のイレズミ文化における—考察—相互行為からみたイレズミ文化論—	多田 治
牛乳を繋ぐメディアの在り方の考察—牛のデータバンクにみる乳の繋がり—	ジョナサン・ルイス
男性と性行為をする男性(MSM)の精神的苦悩—当事者研究による解決策の考察—	宮地 尚子
モンゴルの環境教育普及におけるNGOの役割	御代川 貴久夫
中国における森林問題とその解決への道—住民による自発参加の可能性—	御代川 貴久夫

2014年度

社会動態研究分野

タイトル	指導教員名
ホワイトカラー労働にみる強制と自発—製造業営業職の事例研究から—	木本 喜美子
オンライン・コミュニティの構造と規範の形成・崩壊—2ちゃんねる「ひとりかくれんぼ」を事例に—	多田 治
虐待は家族関係に何をもたらすのか—虐待被害経験をもつ女性たちの語りから—	木本 喜美子
ワーカーズ・コレクティブにおけるメンバー同質性のマネジメント—参加型民主主義をいかに組織化するか—	町村 敬志

近代日本における食糧の歴史社会学—問題化する食とその歴史の変遷—	町村 敬志
パワースポット・ブームにみられる宗教の持続と変容の考察	小林 多寿子
若年ゲイ男性のライフストーリー—HIV/AIDSの時代における性—	小林 多寿子
フィリピンにルーツを持つ1.5世代青年の進路意識の形成—二国間で形成される教育経験と家族の物語—	小井土 彰宏
障害者—介助者間における持続的な介助関係の再検討 —発話困難な重度障害者の介助者の事例を通して—	木本 喜美子
日本の大学生による難民支援活動と難民包摂の可能性—学生団体リーダー層に対するインタビュー調査から—	伊藤 るり

社会文化研究分野

タイトル	指導教員名
マルクス『ヘーゲル法哲学批判』のメタクリティーク	大河内 泰樹
「喪失」からはじめる—ジュディス・バトラ「暴力、喪、政治」における「メランコリー」—	大河内 泰樹
アレゴリーの物質性—ベンヤミン身体論の基底としての言語の問題—	久保 哲司
「兵士の男性」の知覚宇宙—クラウス・テーヴェライト『男たちの妄想』におけるイメージの書法—	久保 哲司
ミシェル・フーコーにおける批判	大河内 泰樹
マルクスにおける「資本の無償自然力」—マルクスの自然力概念と物質代謝論についての考察—	平子 友長
両大戦間期台湾の近代交通システム—鉄道と海運を中心に—	洪 郁如
日中における親子間の対称詞の比較研究—十代と二十代の若者を中心に—	中島 由美

人間行動研究分野

タイトル	指導教員名
不透明さの多様性にむけて—占いと予測をめぐる人類学的試論—	岡崎 彰
「プリミティヴ・アート」—MUSÉE DU QUAI BRANLYを手がかりに—	岡崎 彰
重要他者プライミングが失敗経験後の自己効力感に及ぼす影響—重要他者からの期待に着目して—	村田 光二
SNS利用が利用者の寛容性と政治参加に及ぼす効果—Pervasive Awarenessに着目して—	稲葉 哲郎
寄付行動における目の画像の効果—状態的予防焦点に着目して—	村田 光二
沈黙の螺旋理論とメディア—マスメディアとソーシャルメディアが意見表明に与える影響—	稲葉 哲郎
努力を費やした意思決定が後悔感情に及ぼす影響—努力は後悔をもたらすのか—	村田 光二

人間・社会形成研究分野

タイトル	指導教員名
スケートリンクの公共性	鈴木 直文
大都市圏の進路多様校における進路指導の再検討—卒業後のリスクへの注目とチャンスとしての進路選択—	山田 哲也

授業実践における「態度」への着目—学習意欲を喚起する授業実践 横浜市立大岡小学校を事例に—	中田 康彦
卒業者のライフストーリーから見た高度経済成長期の工業高校—工業高校卒であるということの意味—	木村 元
教育目標・評価の教育実践研究—1960-70年代における安井俊夫の反省的実践課程分析—	木村 元
地方政府における「首長優位」の連続性—占領期地方自治制度改革の検討—	中北 浩爾
EXPLORING ALTERNATIVES IN JAPANESE EDUCATION: A CASE STUDY OF TOKYO SHURE KATSUSHIKA JUNIOR HIGH SCHOOL	木村 元
台湾のいじめ社会問題の構築—新聞報道を中心に—	山田 哲也

総合政策研究分野

タイトル	指導教員名
生活保護制度からの排除の構造—面接相談過程を中心に—	猪飼 周平
沖縄における反基地闘争と自己決定権思想の関連について—第三次嘉手納基地爆音差止訴訟原告団の意識調査をもとに—	林 大樹
保健師の地域的基盤弱体化の原因に関する研究	猪飼 周平
外国人ホワイトカラーのキャリアの限界—なぜ外国人は昇進できないのか—	西野 史子
なぜ管理-被管理関係のない組織が維持されているのか—現代日本の労働者協同組合の研究—	倉田 良樹
就労志向の障害者福祉政策—なぜ作業所が知的障害者の居場所となったか—	猪飼 周平
アニメーターの労働問題と職業規範—「職人」的規範と「クリエイター」的規範がもたらす仕事の論理と労働条件の受容—	西野 史子

歴史社会研究分野

タイトル	指導教員名
一九・二〇世紀転換期における青年の個人主義思想と宗教—綱島梁川と魚住折蘆を事例に—	若尾 政希
清末民国期浙江省における賤民—墮民と九姓漁戸との比較から—	佐藤 仁史
1970、80年代チェコ社会の余暇—「正常化」期におけるクリスマスの祝祭—	秋山 晋吾
仙台藩の天文道—遠藤盛俊—門を中心として—	若尾 政希
近世武家社会と献上儀礼	若尾 政希
カール5世の帝国における摂政とその統治上の機能—1539年-1548年のスペインの摂政を中心に—	秋山 晋吾
真珠から見る日米関係—19世紀末から日米開戦までの御木本真珠店の展開—	貴堂 嘉之
吉原における「道中」の継承—担い手の主体性と「地域的アイデンティティ」—	石居 人也
世紀転換期における神道家の神道解釈—河野省三を事例に—	石居 人也
明治後期八王子の名望家からみる地域形成—第三十六銀行経営層を事例に—	石居 人也
幕末・明治初期における「好古家」の編纂物と歴史意識—武蔵国の在村医小室元長を事例に—	若尾 政希
日本陸軍における小銃の技術的進歩とその影響	石居 人也

青砥藤綱像の変容からみた寛政期の「鑑」—文学上の人物の思想史的解釈をめぐって—	若尾 政希
ソ連軍占領期における中国延辺社会—1945年8月～1946年4月を中心に—	糟谷 憲一

地球社会研究専攻

タイトル	指導教員名
性的少数者の出会いと情報発信	ジョナサン・ルイス
フェアリーの「実在」—コティングリー・フェアリー事件を事例として—	児玉谷 史朗
風景の変容にともなう記憶の書き替え—立川基地跡地利用にともなう歴史と場所の関係の変化を検証する—	多田 治
ユーゴスラヴィア「民族」紛争の起点—コンボをめぐるホームランド・ナショナリズム—	児玉谷 史朗
語りなおされる戦争経験—インド・ナガランド州におけるインパール作戦の「いま」—	落合 一泰
地域開発におけるアートプロジェクトの意味—いちばらアートミックスを中心に—	児玉谷 史朗
地方農山村民の目指す地域の活性化とその可能性—新潟県南魚沼市清水地区の事例から—	太田 美幸
1960～70年代沖縄における〈自殺〉とアノミ—本島中南部および周辺離島における事例を中心に—	多田 治
〈精神疾患患者〉のライフストーリー—精神科通院患者の問題経験と主観的意味世界への接近—	宮地 尚子
循環型社会を創るには—プラスチック製容器包装廃棄物とこれからの考える—	太田 美幸
日本におけるイスラームイメージ	福富 満久
国連安全保障理事会による経済制裁の限界—対イラン制裁の分析より—	福富 満久
美しき革靴は誰のものか—作り手、履く身体、論じる人々をめぐって—	足羽 與志子
〈境域〉のポリテクス—アラブの春以後のフランス・イタリアの難民(非)受け入れと現代欧州における境界—	福富 満久
教育的機能を期待される「子どものためのピアノコンクール」—審査員たちの舞台裏—	太田 美幸
瞑想のアメリカ—内観によって得られる「つながり」の考察—	落合 一泰
日本イメージの形成およびその再構築について—台湾人留学生の語りを通して—	多田 治

2015年度

社会動態研究分野

タイトル	指導教員名
どのようにピルユーザーになっていくのか—主体化＝服従化理論を手掛かりに—	佐藤 文香
「規制できないもの」を制御する—秩序違反の取締りについてのコミュニティ・ポリシングを通じた検討—	町村 敬志
オルタナティブな社会空間の形成—障害者をめぐる地域活動を事例に—	町村 敬志
「政治」の場のインタビュー調査による解明—地方政治家の行為の「意味」に注目して—	小林 多寿子
川越一番街商店街におけるまちづくりと観光—実践から問い直す観光まちづくり—	多田 治
男性化された「遊び」に見える男女間のジェンダー戦略—「サバイバルゲーム」を通じた「快樂的な男性性」の再検討—	佐藤 文香

「社会起業家」という生き方はいかに実現されるのか—〈新しい世代の社会起業家〉のライフストーリーに見る個人と社会—	小林 多寿子
原発事故後の生活困難とはなにか—経験をく了解〉することの難しさをめぐって—	町村 敬志
在外朝鮮人ディアスポラを訪ねる旅—在日コリアン生活情報誌『ミレ』の変容—	町村 敬志
温州高速鉄道追突事故から見る中国マスメディアの変革—紙媒体と微博との比較を中心—	多田 治

社会文化研究分野

タイトル	指導教員名
ヘルダーの『イデー』における自然史の意義—人間の歴史における自由と目的—	加藤 泰史
理性の影の不幸—ヘーゲル『精神現象学』「自己意識」章における「不幸な意識」の意義の考察—	大河内 泰樹
就業行動調査を用いた計画理論の考察	井頭 昌彦
アダム・スミス『法学講義』Aノートにおける自然概念の把握と、それに基づく正義論・生活行政論関係の考察—人間本性と事物の自然的行程に着目をして—	大河内 泰樹
ヘーゲル『精神現象学』における意識と概念	大河内 泰樹
カール・マルクス『ドイツ・イデオロギー』におけるマックス・シュティルナーの影響について	平子 友長
信念内容・主張内容・相対的命題—de se信念の伝達の問題—	井頭 昌彦
フォントネルの人間主義—人間精神の歴史と世界認識—	森村 敏己

人間行動研究分野

タイトル	指導教員名
冷戦後アフリカにおける個人支配の特徴について—カガメ政権「独裁」説の再検討—	児玉谷 史朗
黒色または白色の衣服が着用者の道徳性に与える効果	村田 光二
社会的相互作用が主観的幸福感に及ぼす影響—弱いつながりに着目して—	村田 光二
善意の知覚が第三者への向社会的行動に及ぼす影響	村田 光二
受け手の感情状態とメッセージの制御焦点の対応性が説得に及ぼす影響—禁煙広告から—	稲葉 哲郎
カリプソと男性性、女性性—トリニダード・トバゴの独立から2000年代まで—	大杉 高司

人間・社会形成研究分野

タイトル	指導教員名
ドイツ社会国家の礎としての社会カトリシズム—ケテラーとヘルトリングによるコーポラティズム国家の理念—	田中 拓道
「消費者」をつくりあげる—消費社会と消費者教育の分析—	木村 元
結婚移住女性の適応戦略・教育戦略と農村社会	山田 哲也
フランスにおける社会的経済と消費協同組合をめぐる言説編成—十九世紀—二〇世紀転換期の「連帯」の再検討を通じて—	田中 拓道
インパール作戦決定過程の考察—陸軍の構造的問題点の考察—	吉田 裕

総合政策研究分野

タイトル	指導教員名
高齢犯罪者への生活支援—司法と社会福祉の連携の観点から	猪飼 周平

歴史社会研究分野

タイトル	指導教員名
近世後期武蔵野新田における飢饉対応と救済	渡辺 尚志
善光寺地震における洪水被害と復興	渡辺 尚志
戦後コロニー論の展開と限界の意味—雑誌『愛護』[1954年から1972年まで]の議論動向から—	石居 人也
鉄道がつくったアメリカ—2つの大陸横断鉄道と国民統合—	貴堂 嘉之
1950年代における中華民国政府の対日外交と僑務、海外党務—在日華僑送還問題と日中貿易問題を中心に—	佐藤 仁史
フェルディナント1世の家領管理における宮廷戦略—1520-30年代の宮廷再編を手掛かりに—	秋山 晋吾
国共内戦における蘇北難民救済問題	佐藤 仁史
焼身行為における苦痛の考察—ヴェトナム戦争期のアリス・ハーズを事例に—	中野 聡
近代ドイツ都市における衛生事業の展開について—ケルンにおける1867年のコレラ流行を事例に—	阪西 紀子
第三共和政期フランスにおける「外国人」労働者排斥運動の背景と影響—1881年6月『マルセイユの晩鐘』事件から—	森村 敏己
『歴史学研究』で議論された歴史教育—歴史学と歴史教育の関係性—	秋山 晋吾
18世紀イングランドにおけるモラリストの政治経済と道徳—ジョナス・ハンウェイの著作と海洋協会の実践より—	森村 敏己
戦争花嫁/Japanese War Brides —日本とアメリカのまなざしの間で—	貴堂 嘉之
只見川電源開発における「地域」の変遷—田子倉補償問題を視る—	石居 人也
享保期の書肆と読者—河内国の二つの家の事例から—	若尾 政希
1950年代前半期における地域文化運動の展開と人びと—国民的歴史学運動再考—	石居 人也
1920年代から40年代のハルビンにおける医療文化と社会生活—『浜江時報』・『浜江日報』の広告を中心に—	坂元 ひろ子
関東大震災時の朝鮮人虐殺事件、片柳村での事件と常泉寺の墓碑	石居 人也

地球社会研究専攻

タイトル	指導教員名
世論調査の新時代にむけて—niconicoネット世論調査の有効性と活用の考察—	ジョナサン・ルイス
広報をめぐる自治体の役割と責任—自治体広報紙の配布方法の分析を通じた考察—	足羽 與志子
現代パキスタンにおける女性高等教育と「ジェンダー・スタディーズ」—女子大学の事例から—	足羽 與志子
津波被災地の場所と心の変容—被災地の人々の語りに着目して—	宮地 尚子
カンボジア仏教における起源と反復—独立前後と現代を中心とした構築と実践—	足羽 與志子
台湾における博物館と国民表象の変遷—国立台湾歴史博物館を中心に—	足羽 與志子

「戦中派」による「戦争体験」を語ることの特権性—知識人の諸世代における「戦争体験」の語りから—	多田 治
島社会の還流現象—沖縄・伊良部島の場合—	多田 治
戦後日本の精神科入院における家族同意メカニズム—代諾システムの理論にむけて—	宮地 尚子
中東・北アフリカ地域における民主化条件に関する一試論—アラブの春以降のチュニジアとエジプトを事例に—	福富 満久
上海協力機構(SCO)からみる中国のエネルギー安全保障—政治的アプローチを中心に—	福富 満久

2016年度

社会動態研究分野

タイトル	指導教員名
移行経済下の国際移住労働と女性の経験—2000年代におけるベトナム人女性移住家事労働者の事例から—	伊藤 るり
有機野菜が都市部の単身者に届くための条件—増加する有機野菜農家と「子ども食堂」の可能性—	町村 敬志
デザインと地域社会の接続—横浜で活動したデザイナーの職能に着目して—	町村 敬志
都市細街路の変容と自営業借家人の生き方—大宮駅東口地域における古着屋等の集積に着目して—	町村 敬志
「ファンであること」が長期継続する力学—《スレイヤーズ》ファンのライフコース—	町村 敬志
フラッシュモブの生成と多様化—「劇場型」の興隆と脱公共空間—	小林 多寿子
公立学力下位校における支援活動「図書室内カフェ」の分析—学力下位校において課題発見を目指す取り組みの事例—	多田 治
「都市同窓会」のエスノグラフィ—上京移動経験者の同窓会活動とその意味/位置づけ—	多田 治
移民のインターカルチュラルな統合と地域—バルセロナ「反うわさ戦略」の生成過程から—	小井土 彰宏
地価高騰下の住宅危機とローカルな政治の変容—バブル期・東京都心区の住宅政策を事例に—	町村 敬志
〈家庭〉を描く日常世界—子どもたちの経験と語り—	佐藤 文香
異性愛主義社会とコミュニティのあいだで—ゲイ男性・バイセクシャル男性のライフ・ポリティクス—	佐藤 文香
在日コリアンの若者はヘイトスピーチをいかに経験するか—新たな差別の影響と四つの対処モデルに関する比較分析—	伊藤 るり
沖縄の基地従業員女性からみた在日米軍	佐藤 文香

社会文化研究分野

タイトル	指導教員名
後期ベンヤミンにおける、「近代形式物語」からの経験獲得可能性あるいは復元可能性について	久保 哲司
哲学的探究における直観の役割を擁護する—哲学の目的の再考を通じて—	井頭 昌彦
哲学者ウイットゲンシュタインと独我論—ウイットゲンシュタインの主体観に着目した一解釈—	井頭 昌彦
現代正義論における不正義感覚論の意義	加藤 泰史

性質に関する存在論的ミニマリズムの擁護	井頭 昌彦
フッサー現象学における生活世界の変転性と正常性	大河内 泰樹
石田忠の「反原爆の思想」とカントの道徳哲学	加藤 泰史
『精神現象学』における啓蒙—啓蒙思想、啓蒙運動、革命—	大河内 泰樹
諸規定の媒介の解消と回復—ヘーゲル反省論の注釈—	大河内 泰樹

人間行動研究分野

タイトル	指導教員名
偏在する宇宙—複数世界と科学技術の人類学的試論—	大杉 高司
有権者のデモに対するイメージ	稲葉 哲郎
ステレオタイプ脅威が女性の数学成績とリーダー役割就任意図に及ぼす影響	村田 光二
社会的地位への脅威の認知が道徳判断プロセスに及ぼす影響—道徳基盤理論に着目して—	村田 光二

人間・社会形成研究分野

タイトル	指導教員名
学生と軋轢を生みながら再生産される大卒就職慣行	山田 哲也
初等教育修了後の進路をめぐる学校と地域社会の関係史—戦時期長野県下伊那地方を事例とした職業指導の実態—	木村 元
近代日本における陸軍大臣の権能と軍内統制確立への試み	吉田 裕
「組織」による社会的包摂の可能性—ホームレスサッカープログラム「野武士ジャパン」の事例から—	鈴木 直文
スポーツファンの世界—スポーツ自転車実践者と「ツール・ド・フランス」視聴者に焦点を当てて—	坂上 康博
第一次世界大戦後の社会変動と茨城県教育会—『茨城教育』の検討を通して—	木村 元
自民党代議士の集票組織の変容—政治改革後の衆議院茨城県第X選挙区の事例分析—	中北 浩爾
現代中国の高等教育における日本語学習の意味づけの分析	太田 美幸

総合政策研究分野

タイトル	指導教員名
残余としての犯罪者の処遇—なぜ社会内処遇は更生保護により主に担われたか—	猪飼 周平
戦後初期日本の代替的養護抑制要因	猪飼 周平
計算による生活の把握と指導—生活保護制度におけるケースワーカーの業務とその歴史的変容—	猪飼 周平

歴史社会研究分野

タイトル	指導教員名
帝国国制のなかの騎士文化—中世後期ドイツ「四地方」の騎馬試合を例に—	森村 敏己
民国前期広東省地方政権の財政と商人層の動向	佐藤 仁史

音楽文化と＜戦後＞イメージの形成—芸術文化に対する内的要因と外的要因をめぐって—	石居 人也
幕末の百姓と武力—武蔵国江川代官領の農兵・兵賦の民衆—	渡辺 尚志
18世紀ハンガリーにおける周縁集団の受容と排除—君主の「ツィガーニ問題」とシクロ—シュ市場町の「ツィガーニ問題」—	秋山 晋吾
20世紀転換期中国系アメリカ人二世のトランスナショナル・ポリティクス—革新主義期アメリカと清末民初中国の間で—	貴堂 嘉之

地球社会研究専攻

タイトル	指導教員名
現代イランにおけるエネルギー補助金改革の政治過程分析	福富 満久
自閉症スペクトラム障害の原因論の変遷—家族要因説との関連を中心に—	宮地 尚子
「日本画」をめぐる意味の形成と変遷	足羽 與志子
対外政策変更と国家アイデンティティ—エリイツィン政権を事例に—	福富 満久
日本における現代アメリカヒップホップ音楽の伝播と受容	多田 治
日本の武術が心身に与える影響について—空手の形を例に—	赤嶺 淳
GHQメディア統制が支えた聴取者の「自由」—ラジオ番組「真相はこうだ」、「日曜娯楽版」による考察—	福富 満久
北海道農業の国際化対応—「十勝型GAP」の取り組みから—	福富 満久
機械の再生、技術の飼いならし—インドに棲息する中古コピー機零細ビジネス—	足羽 與志子
移動する三線、つながる人々—川崎市における三線の普及についての考察—	足羽 與志子
中国都市間文化競争における食文化の伝承と創造—揚州市の事例を通して—	多田 治
新浪微博における対日言論の展開について	ジョナサン・ルイス
ベトナム・オペラという文化表象—社会主義ベトナムにおける芸術と権力—	足羽 與志子
原子力災害における住民避難の構造的問題—東海村元村長、村上達也氏への聞き取りと分析を中心に—	足羽 與志子
「津軽コギン刺し」という地域文化、その誕生と展開	足羽 與志子
東日本大震災をめぐる人の移動—宮城県北東部における避難、帰還、移住の経験から—	足羽 與志子
現代中国におけるロック音楽：抵抗という価値の変遷	足羽 與志子

2017年度

社会動態研究分野

タイトル	指導教員名
婚姻はいかに変わるのか—国際結婚事業を行った自治体に着目して—	町村 敬志
現代日本女性の化粧と身体—働く女性の日常的化粧経験から	小林 多寿子
「酔っぱらい」とは誰か—酩酊の概念分析—	小林 多寿子
東日本大震災とフィリピン女性たち—大船渡市・陸前高田町における「パガサ会」の事例から—	小井土 彰宏

「国民化」政策から見る「国民」像—トルコ共和国初期(1923-1945)における「トルコ人」を例に—	小井土 彰宏
100Kmウォークの展開と歩行体験—自分にとって本当に大切なものを探す旅—	小林 多寿子
〈収容可能性〉のもとで生きる—在日クルド人庇護家族の経験と日本の難民政策	伊藤 るり
日本の対抗文化における経験の多様性についての考察—新宿西口フォーク集会を例に—	多田 治
日本の映画文化における連続性と非連続性	多田 治
夜間のイベントスペースへの管理統制における「バグ」の構築—大阪・ミナミにおけるクラブ摘発問題から—	町村 敬志
通過点としての池袋—華人エスニック・ビジネス労働者の事例から—	伊藤 るり
日本における非正規滞在者と帰国後の生活就労実態—ペルー人帰国者の事例から—	小井土 彰宏
AMBIVALENT STATES OF RECOGNITION: ROHINGYA MUSLIMS MADE STATELESS BY BURMA SEEKING ASYLUM IN JAPAN	小井土 彰宏
日本武道館のアイデンティティについて—「武道の聖地」と「ライブの聖地」の関係を中心に—	町村 敬志
庶民の公共領域—WEIBOにおける「APAホテル事件」から—	町村 敬志

社会文化研究分野

タイトル	指導教員名
ハンナ・アーレント『精神の生活』における「思考」と「意思」の概念	大河内 泰樹
規範と価値の関係からみるハーバースとホネットの自由に関する議論における差異についての考察	大河内 泰樹
フッサール時間論における未来把握—発生現象学の成立の一契機としての未来把握—	大河内 泰樹
リベラルな寛容の限界—寛容と無関心をめぐる考察—	加藤 泰史
ヘーゲル『精神現象学』における良心の相互承認—言語を媒体とする承認モデルとして解釈する試み—	大河内 泰樹
自己意識と生命—『精神現象学』「自己意識」章における二つの契機—	大河内 泰樹

人間行動研究分野

タイトル	指導教員名
「ともになる」ことの人類学—サル学の科学史的検討から—	久保 明教
ケニアにおける分権化—Devolutionはケニア社会にどのような効果をもたらしたか—	児玉谷 史朗

人間・社会形成研究分野

タイトル	指導教員名
介護労働の労働過程に関する実証研究—「個別ケア」に着目して—	山田 哲也
2015年文部科学省新通知における政治教育の可能性と限界—B.Berusteinの〈教育〉の社会学理論を手がかりに—	太田 美幸
「革命」に軍隊、「維新」の軍隊—アメリカ独立革命期と明治初期における軍隊形成の比較—	吉田 裕

カナダの移民統合アプローチの「脱-多文化主義化」—連邦政府の多文化主義プログラムと定年プログラムの分析—	田中 拓道
育児概念の広がり方と育児不安—乳幼児の母親とのインタビュー実践を通して—	山田 哲也
「農業を体験すること」はいかにして<教育>実践になりうるか—B.Bernsteinの<教育>の社会学に基づく探求—	山田 哲也
アジア・太平洋戦争期の「南方」戦線における朝鮮人兵士研究—陸軍特別志願兵を中心に—	吉田 裕
党組織における日本社会党から民主党への段階的変化—ポスト配分に焦点を当てて—	中北 浩爾

総合政策研究分野

タイトル	指導教員名
均等法世代の就業選択と仕事選択における「主体性」の所在—再就職後の続けたい仕事はいかに決まるのか—	倉田 良樹
大卒就職における就職課の役割—非選択型大学に注目して—	倉田 良樹
県費負担教職員制度の制度改革—指定都市と中核市への移譲に着目して—	堂免 隆浩
戦後日本における仏教ソーシャルワークの衰退に関する分析	猪飼 周平
多様な利用の可能性を受け入れるルールの自発的形成の条件—ボール遊びを許可している公園を事例として—	堂免 隆浩
日本におけるサービス職留学生労働者の就労状況—混合法的アプローチを中心に—	倉田 良樹

歴史社会研究分野

タイトル	指導教員名
フランス革命前夜における首飾り事件の影響—ジャンヌ・ド・ラ・モットの回想録とロアン枢機卿の裁判の考察から—	森村 敏己
近世後期山村の構造と身分—武州秩父郡太田部村の例から—	若尾 政希
KKK Report(1872)における証言の現場—テネシー州とサウスカロライナ州を中心に—	貴堂 嘉之
「シベリア抑留体験」言説の発生とその受容—留守家族への「証言」と悲劇的体験としての抑留像—	中野 聡
第二次世界大戦後のマケドニアにおける国民形成—アイデンティティの模索とイリデン年金政策—	秋山 晋吾
江戸幕府の遊所統制と新吉原遊郭—町奉行所関連史料の分析を中心に—	若尾 政希
近世後期手習塾教育の特質—下総国葛飾郡藤原新田「安川舎」を事例に—	若尾 政希
両用技術と「平和」—1950～70年代日本の宇宙開発史から—	中野 聡
近現代日本の村落とその共同性の変容—兵庫県宍粟郡閏賀集落の事例—	石居 人也
近世後期上総・下総国の地域防衛構造	若尾 政希
MEMORIES LEFT IN OVER GROWN SUGAR CANES: RE/UN FRAMING THE MISPLACED WAR TIME MEMORY OF JAPANESE AMERICANS IN HAWAI‘ I	貴堂 嘉之
『家の光』にみる戦間期日本の農村における時間意識	石居 人也
GHQの性管理政策と日本人売春婦	貴堂 嘉之
解放後の国籍をめぐる在日朝鮮人運動—朝鮮分断から朝鮮戦争停戦までを中心に—	加藤 圭木

地球社会研究専攻

タイトル	指導教員名
大企業における若年ホワイトカラー労働者のキャリア形成パターン—経済的要因と非経済的要因の関係—	赤嶺 淳
インフラ/ポスト・コンフリクトにおける対スリランカ国際支援をめぐる考察—東部州を中心に—	足羽 與志子
現代アメリカにおける戦争に対する記憶—オンライン書店アマゾンにおける購入データの分析—	ジョナサン・ルイス
歴史記念館がかたちづくる空間の様相—ヘクター・ピーターソン記念館とソウエトの人々の関わりから—	児玉谷 史朗
現代マレーシアのハラール認証制度と「ハラールイシュー」—20代マレー系ムスリムのライフスタイルに着目して—	足羽 與志子
出生前診断における情報不足と当事者の対処—インターネットを利用してなされる相談に着目して—	宮地 尚子
証言者としての乳幼児期被爆者—「あの日」の正統性—	宮地 尚子
刑務所出所者が自叙伝を公刊するということ	宮地 尚子
在日ネパール人移民の移住過程における課題と日本の入管政策	足羽 與志子
商店街で働く人々のキャリア形成	ジョナサン・ルイス
環境に関連するソーシャルアクションの可能性—参加者の特性および環境配慮態度・行動に着目して—	大瀧 友里奈
現代のフォトジャーナリズム考: マグナム・フォトによる挑戦	足羽 與志子
電脳空間におけるサービス提供者への評価の調査分析—オンラインマーケットプレイスでの各ショップへの評価レビューについて—	ジョナサン・ルイス
日中韓の青少年交流を通じた歴史和解の可能性	足羽 與志子
中国のQ&Aサイト「知乎」における知識シェア活動	ジョナサン・ルイス
キャンディ・サリー: 現代スリランカにおけるシンハラ真正性の表象	足羽 與志子
現代セルビア社会における自画像の模索: ヨーロッパとバルカンのイメージの間	足羽 與志子

2018年度

社会動態研究分野

タイトル	指導教員名
高齢出所者の「社会復帰」は何を意味するのか—近接性と社会関係資本をめぐる考察—	町村 敬志
現代フランスにおける人種差別と国籍—2000年代以降の「国籍剥奪」論争に関する一考察—	森 千香子
ロベール・ブレッソンにおける「宗教的なもの」	深澤 英隆
越境する「個人」の選択する「神」—Ulrich Beckの「コスモポリタンな宗教的規範」における「個人」と「神」概念の再考—	深澤 英隆
演劇のリアリティと俳優—リアルとフィクションをめぐる俳優の役作りの過程から—	小林 多寿子
ヨルダンにおけるシリア難民のカテゴリー化—受け入れと移動をめぐるアイデンティティの実践—	小井土 彰宏
都市空間はいかにして維持されるのか—シンガポールのコミュニティガーデンを支える構造とガーデナーたちの実践—	町村 敬志

地域の共同性から生まれる小さな公共性—茨城県大洗町におけるアニメとの連携—	多田 治
教団に踏み入るスピリチュアリストたち—修験教団信者へのインタビューから—	深澤 英隆
J.バトラーの主体論を読み直す—「男でも女でもない」と「沈黙」—	菊谷 和宏
最小限度生活を通じた統括—不要なモノを所有しない人々「ミニマリスト」の意味生産の分析—	小林 多寿子
中国帰国者3世研究序説—エスニック帰還移民大1.5/2世代と中国残留日本人3世の交差—	小井土 彰宏
子育て支援のジェンダー構造—男性保育者による実践の課題と可能性—	佐藤 文香
地域・観光から見る自衛隊	多田 治
朝鮮学校「に訪れる」人々—朝鮮学校における「よそ者」研究	町村 敬志
インドネシア人技能実習生の期待と現実—技能移転の可能性と限界—	小井土 彰宏
“インド人IT技術者の海外就労と仮想就労の構造的連関—米国就労者の二面性システムの検討—”	小井土 彰宏

社会文化研究分野

タイトル	指導教員名
アーレント『人間の条件』における誕生性と約束—未来を現在であるかのように扱う行為について—	加藤 泰史
価値形態論の素材的側面—初版から第二版への改稿過程の検討を通して—	大河内 泰樹
『ドイツ・イデオロギー』における「土台・上部構造」論の基礎	大河内 泰樹
分析形而上学における標準的アプローチと代替アプローチ	井頭 昌彦
初期ニーチェの文化思想における認識の重要性の推移—『反時代的考察』第1篇における認識と批判の考察—	久保 哲司
マルクスの価値論と資金論—労働の価格とその規制の理論的位置づけ—	大河内 泰樹
ショーペンハウアーの意志概念とその働き—『根拠律』における「活動する意志」からの再考—	加藤 泰史
単称思想概念の分析	井頭 昌彦
「実体(substantia)と「実体的なもの(substantiale)」—バウムガルテンによるデカルト及びスピノザの(批判的)継承の解明に向けて—	加藤 泰史
帝国植民地における次世代教育—在台日本人の幼稚園に関する—考察—	洪 郁如
19世紀末から20世紀初頭フランスにおけるナショナリズム—モーリス・バレスの「自我」から—	森村 敏己
主観的現在における知覚経験の成立—映画モデルの批判的検討—	井頭 昌彦
『存在と時間』における死の実存論的概念と他者の死	大河内 泰樹

人間行動研究分野

タイトル	指導教員名
アフターネットワーク論における時間についての考察—ブリュノ・ラトゥールを中心—	大杉 高司
有権者のオンラインメディア利用と政治知識—選択的接触に基づいて—	稲葉 哲郎
中国人商人の耐アフリカ輸出ビジネスモデル—浙江省義烏市と周辺地域に発する雑貨貿易の事例—	上田 元

微博における意見表明に関する研究—代理出産を争点とした微博上での沈黙の螺旋理論の検証—	稲葉 哲郎
---	-------

人間・社会形成研究分野

タイトル	指導教員名
田辺元「種の論理」における階級分裂の問題と「国家」概念の二重性—「資料」概念に着目した考察	田中 拓道
いじめに直面した子どもによる援助要請の阻害要因—中学生の体験談と大人に対する要望の分析から—	中田 康彦
生活保護制度における「自立」言説の形成と特徴	田中 拓道
精神障害当事者の視点と実践から見る「障害者スポーツ」—ソーシャルフットボールを事例に—	鈴木 直文
教師の貧困観とその成立背景—貧困地域の中学校教師と教員志望学生の語りを事例に	山田 哲也
在日ブラジル人二世代の文化的アイデンティティとフットサル・ネットワーク	尾崎 正峰
アジア・太平洋戦争の戦場と看護—「戦場の諸相」と「戦後史」を中心に—	吉田 裕
周縁チベットの民族アイデンティティ形成に関する研究—青海省化隆地域を中心に	太田 美幸
インターンシップにおける相互作用がキャリア発達に及ぼす影響—中小企業の実践事例から—	木村 元

総合政策研究分野

タイトル	指導教員名
地域社会における子ども食堂の受容に関する研究	猪飼 周平

歴史社会研究分野

タイトル	指導教員名
日中戦争期の青島における日本経済団体—青島日本商工会議所を中心に—	佐藤 仁史
植民地期金剛山の観光地化に関する研究—日本人旅行者の旅行記分析を中心に—	加藤 圭木
民国期中国の女性家事使用人と主婦	佐藤 仁史
И. Я. ビリービンの浮遊する祖国愛—おとぎ話になった芸術家—	秋山 晋吾
明治前期のメディアにおける西郷隆盛観—西郷の「英雄」化と「賊」化—	石居 人也
アメリカ合衆国の社会福祉の変遷におけるフードバンクの発展—ジョージア州アトランタを事例として—	貴堂 嘉之
明治初期「都市民衆」の意識の研究—東京・横浜の人力車夫を事例に—	石居 人也
幕末維新时期における夫役負担に関する研究—武蔵国多摩郡後ヶ谷村を事例に—	渡辺 尚志
ウィーン体制下グダニスク商業とプロイセン—広域権力と都市商業の関係に関する考察—	秋山 晋吾
近世中後期における河川流通秩序の成立と展開—武蔵国入国郡上新河岸村を事例に—	渡辺 尚志
18世紀半ばのイギリス社会における世論と軍人像の結びつき—ミノルカの海戦をめぐる論争を題材に—	森村 敏己
由緒者としての禁裏御料郷土と、その言説	渡辺 尚志

『和漢軍書要覧』再考	若尾 政希
高田眞治の思想研究—「天命思想」と「皇道」との関わりで—	加藤 圭木
正学派朱子学者の歴史思想—山県太華の纂論書『国史纂論』を中心に—	若尾 政希

地球社会研究専攻

タイトル	指導教員名
子育て支援を担う助産師のジェンダー規範	宮地 尚子
介護職の日常的実践における戦術—にいと嗅覚に注目して—	宮地 尚子
フォークロア表現(TCE)(伝統的文化表現)と知財法を巡る国際議論—WIPO政府間会議事録の分析—	ジョナサン・ルイス
沖縄反基地闘争における仏教者の位置—日本山妙法寺の平和行進を事例に—	足羽 與志子
中華民国民主代に関する考察—体制移行の偶然性と歴代総統の戦略性—	福富 満久
回族の婚姻と民族意識における変容—内モンゴル自治区フフホト市における回族の事例を中心に—	宮地 尚子
非木材林産物の採集と流通—大興安嶺地域における語りから—	赤嶺 淳
中央アジアにおける中露関係—国際レジームの視点から—	福富 満久
日本との比較から見る韓国における外国人政策の転換—民主化運動と政治的機会構造に着目して—	福富 満久
ファンサイトの実態に関する研究—TFBOYSのファンサイトを例に—	多田 治
「漢服」とはなにか—現代中国における民族服の考察—	足羽 與志子
EVERYDAY LIFE IN STRPCE, A SERB-MAJORITY AREA IN SOUTHERN KOSOVO: THEIR STRATEGIES AND SENTIMENTS	足羽 與志子
コンテンツと観光による日本イメージの形成—「鎌倉高校前」駅を訪ねた中国人を例として—	多田 治
中国大陸における客家エスニック・メディアの現状と発展—梅州市テレビを例として—	ジョナサン・ルイス
中国のソーシャルメディアにおけるアイドルファンコミュニティ—Sina Weibo におけるジャニーズファンの言論から—	ジョナサン・ルイス

2019年度

社会動態研究分野

タイトル	指導教員名
象徴的体験の獲得のためのバックパッカー旅行—日本人の若者・学生を事例に—	多田 治
大都市東京における地方政治家の誕生過程—東京都議会議員選挙の後援会における支持構造を手掛かりに—	町村 敬志
介護経験の政治学—障害者当事者による自立生活支援団体を事例に—	小林 多寿子
中国仏教の近代化と民衆的仏教信仰の変化—近現代中国の真言密教の布教をめぐる	深澤 英隆
個人加盟ユニオンにおける外国人労働者へのまなざし—東京都の4事例における経験—	小井土 彰宏
ケアの協働—移動する男性フィリピン人介護福祉士の実践と困難に着目して—	小井土 彰宏
生の躍動とカテゴリー—マックス・シュティルナーにおける「唯一者」概念—	菊谷 和宏

「社会人」の系譜学－「他社」に目を向けるために－	深澤 英隆
ルイ・デュモン「ヒエラルキー」概念の検討－差異と共同性の両立を目指して－	菊谷 和宏
学生映画祭とは何か？－「学生」性から考える映画祭のゆくえ－	多田 治
ソーシャルメディアにおける創作のゆくえ－小説投稿サイト上の執筆活動を事例に－	小林 多寿子
きょうだい支援ボランティアとは誰か－参加・継続要因の検討－	小林 多寿子
日本の労働における男女格差－性的/性別にかんするハラスメントを組み込んだ検討－	佐藤 文香
福島県旧警戒区域における動物保護活動から見た動物倫理観	多田 治
氏神鎮守のなかの地域空間－現代東京近郊からみる地域の編み込み－	町村 敬志
グローバルな移動性を求めて「英語で学ぶ」－在日留学生が第3国へと移動するまでの経験－	小井土 彰宏
中国人の不妊と関わりのある女性から語られる不妊および不妊治療	佐藤 文香
外国につながる子どもたちへの教育支援施策の形成過程－東京都における多様なアクター間連携と行政との関係性に着目して－	小井土 彰宏

社会文化研究分野

タイトル	指導教員名
岐路に立つ国家論－フランシスコ・デ・ビトリアの『政治権力について』とその理論的、歴史的文脈－	加藤 泰史
バスク語諸方言の系統的下位分類	五十嵐 陽介
障害現象と規範性－社会モデルからの批判的考察－	加藤 泰史
画像における情動表出	井頭 昌彦

人間行動研究分野

タイトル	指導教員名
他者とまちを歩くということ	安川 一
ナイジェリア南西都市部における「テックガイ」とIT開発をめぐる諸関係のエスノグラフィ－	久保 明教
オフラインとSNS環境の自己評価の違い－SNS環境の自己呈示を介して－	稲葉 哲郎
指の道：そろばん教示のエスノメソドロジ－的相互行為分析	安川 一
「貧しさ」から原始の「豊かさ」へ：深圳新世代日雇い労働者「三和ゴッド」の人類学的考察	大杉 高司
都市自助集団の複合・選択的生計戦略－ケニア中都市における苗木生産グループ構成員の事例から－	上田 元
内向性から見える大学生のSNSとオフラインの行動の差異－中国SNS微博を例として－	稲葉 哲郎
身体技法としての摂食障害－脱病理化の探求－	大杉 高司

人間・社会形成研究分野

タイトル	指導教員名
「自己と向き合う」平和教育の可能性－無言館における高松実践を手がかりに－	木村 元

DEVELOPMENT OF CULTURAL DIVERSITY IN JAPANESE UNIVERSITY:CROSS CULTURAL ADAPTATION OF BRUNEIAN STUDENTS	中田 康彦
教師が〈仕事〉を引き受けるとはどういうことか―「教師であること」の物語に着目して―	山田 哲也
何が『赤旗』の拡大を支えたのか―戦後日本共産党における組織的基盤の実態―	中北 浩爾
福祉国家再編における幼児教育の再定義―言説分析を通じて―	田中 拓道
読書会におけるつきあいと学び―女性たちの余暇活動として―	太田 美幸
どのように休学は「経験」されるのか―仕事への移行のための休学を経験した人へのインタビュー調査を通じて―	山田 哲也
高校生から大学生におけるキャリア意識に関する研究―非資格系文系学部の学生の語りから―	中田 康彦
戦後初期の日本社会における教師観の歴史研究―教師の〈献身性〉をめぐって―	吉田 裕
学習における主体化と教師の役割	中田 康彦

総合政策研究分野

タイトル	指導教員名
終末期医療における宗教的援助の困難性―日本仏教と緩和ケアの歴史的特性に着目して―	猪飼 周平
子どもの福祉実現のための要保護児童対策地域協議会の条件―大都市圏における地方自治体を対象とした事例研究―	堂免 隆浩
教育と福祉の境界としての保健室登校	猪飼 周平
知的障害者の雇用―包摂の条件と変遷―	猪飼 周平
地域若者サポートステーションが利用中断層を生む原因に関する研究―支援者へのインタビュー調査に基づく支援内容についての分析―	猪飼 周平
住民主体の地域福祉を通じた高齢者の社会的孤立対策に関する研究―K市における見守り訪問事業を事例として―	白瀬 由美香
日本における高学歴外国人女性労働者の定着と移動の意思決定過程に関する研究	西野 史子
日本のIT産業における外国人技能者の就労実態―ウクライナ人労働者を事例として―	倉田 良樹

歴史社会研究分野

タイトル	指導教員名
日米による基地の共同使用化：在日米軍基地の整理統合計画と沖縄施政権返還に伴う自衛隊配備に焦点を当てて 1968～1973	中野 聡
植民地期朝鮮感鏡道における有煙炭鉱と炭鉱労働者	加藤 圭木
アジア・太平洋戦争期における生命保険とその受容―人々にとって、生命保険とは何であったのか―	石居 人也
旧制中学における教育環境と生徒の意識の変化―東京府立第三中学校『学友会雑誌』の分析を中心に―	石居 人也
「コザ暴動」と米国の沖縄情勢認識の変容―1969年11月佐藤・ニクソン共同声明以降の「沖縄問題」―	中野 聡
近世非領国地域の中間層と地域社会―越前国坂井郡野中村を中心に―	渡辺 尚志
幕末維新时期における長州藩士のネットワーク―大楽源太郎を事例として―	若尾 政希
戦後日本における混血児に対する国際養子縁組―日米双方の立場から―	貴堂 嘉之

1970年代における沖縄戦体験記録運土王と「記録者」たちー「沖縄戦の記憶」の生成過程ー	中野 聡
芸術と世論ーサロン批評における公衆像の変遷(1747-1808)ー	森村 敏己
日本近代を生きた産婦人科医と美容・身体・精神ー樋口繁次を事例としてー	石居 人也
18世紀の宗教的慈善に対する人々の意識ーギヨーム・マニエによるサンティアゴ巡礼を例にー	森村 敏己
沖縄の戦跡と基地をめぐる歴史実践の変容ー「慰霊の旅」から「沖縄修学旅行」までー	中野 聡
植民地朝鮮の釜山における火葬場設置と地域社会	加藤 圭木

地球社会研究専攻

タイトル	指導教員名
表象としてのシュラフタとポーランド文化ー『パン・タデウシュ』をめぐる考察ー	足羽 與志子
現代インドネシアにおける文学と政治の研究ーエカ・クルニアワンと『美は傷』を中心にー	足羽 與志子
ナショナル・マイノリティの権利承認運動におけるNGOの戦略ーイスラエルのNGO・アダラの事例からー	児玉谷 史朗
現代上海市における産業養生「坐月子(ズオユエズ)」ー伝統的慣習を「科学的に」過ごすことをめぐる女性たちの交渉ー	ジョナサン・ルイス
生活者としての自衛官の家族ー非日常と日常の狭間の自衛隊像を捉えるー	太田 美幸
日本型近代家族規範の影響ーひとり親世帯に向けられる「逸脱」の視点からー	太田 美幸
判決後の四日市公害を捉えるー当事者へのオーラルヒストリー調査を通じてー	大瀧 友里奈
広域黒海地域における非承認国家の主体的活動ーアブハジア共和国を事例に	福富 満久
カレー難民キャンプ撤去の可能性ー国内の移民政策とキャンプの特質からの分析	福富 満久
なぜ女子児童は性的に搾取され続けるのかー児童の権利をめぐるジレンマー	宮地 尚子
十六世紀イングランドにおける主権国家の確立ーイングランド宗教改革を中心にー	多田 治
光州事件の記憶と五月精神の研究ー5・18文学賞の分析を中心にー	足羽 與志子
ウェイボーにおける化粧の意味構造とその変化への考察ービューティーパーロガーを事例にー	ジョナサン・ルイス
中国女性外交官の変遷	福富 満久
ソーシャルメディアにおける災害時の情報の拡散要因	ジョナサン・ルイス
国家間紛事に対する「女性平和論」の可能性分析ー1945から2015までー	福富 満久
日本に滞在する無国籍者の安全保障ー法律と生活実態の隔たりー	福富 満久
中国社会への爆買の影響ー日本コスメの普及を事例にー	足羽 與志子
中国の若者における自虐文化の現象に関する考察ー「辣条(ラーティアオ)」を中心にー	赤嶺 淳
中国若者の流行文化消費の変容と再生産ー「80後」と親世代の事例を中心にー	多田 治
仏教とチベット社会との関係変化を分析するー東チベットを中心として	多田 治

2020年度

社会動態研究分野

タイトル	指導教員名
自殺と自己物語—自殺企図者の問題経験の語りから—	小林 多寿子
台湾ホモナショナリズムをめぐるアンビバレンス—「先進的な我が台湾=LGBTユートピア」における「非規範的とされる性/生を生きるわたし(たち)」の生存を求めて—	小林 多寿子
インフォーマル経済に対する人道的な規制と再周辺化—モロッコ・スペイン領セウタ間の「密輸」のエスノグラフィー—	小井土 彰宏
都市社会の動態にみるフランスにおける「難民」受け入れの地域化—地方中核都市ナントの事例から—	小井土 彰宏
ジェンダー視点から見る在日ベトナム人技能実習生 女性技能実習生を中心に	小林 多寿子
移民1.5世代の若者たちの「帰国」と労働市場への参入プロセス—メキシコ都市群に生きる米国からの移住者の事例から—	小井土 彰宏
東京臨海副都心における「空気感」の研究—感覚から浮かび上がる都市空間のありようをめぐって—	町村 敬志
ムスリム女性の「生きられた経験」—日本における若者ムスリム女性の葛藤と交渉—	佐藤 文香
市民の郷愁からみる中国における歴史的街区の現在—武漢市・中山大道歴史的街区を事例に—	町村 敬志
日本社会における「あからさまでない人種主義」—高学歴・高階層の日本人の語りから—	小井土 彰宏
性暴力と「性の二重基準」—新聞・雑誌メディアの言説分析から—	佐藤 文香
理想と事実の転倒—エミール・デュルケム「集合的沸騰」の考察から—	菊谷 和宏
観光体験とオーセンティシティの多面性—横浜中華街における中国人観光客の事例から—	深澤 英隆
大原幽学のムラを読みなおす—千葉県旭市長部地区を事例に—	町村 敬志
Web会議システム上の円滑なコミュニケーションの実現に向けて—システムの特性と多様化する用途の可能性—	小林 多寿子
男性にたいするCRSV(紛争に関係する性暴力)はいかに問題化されるか—クレーム申し立て活動の言説分析—	佐藤 文香
ダルクにおける薬物依存からの「回復」と就労に伴う困難への対処—元ダルク入所者へのインタビューから—	多田 治
「ダイバーシティ時代」の「国際寮」—ダイバーシティ研究の批判的検討—	佐藤文香

社会文化研究分野

タイトル	指導教員名
FRENCH SCHWA PERCEPTION BY JAPANESE LEARNERS OF FRENCH AND NATIVE SPEAKERS OF FRENCH	五十嵐 陽介
決定論と怒り—Strawsonの両立論の擁護—	井頭 昌彦
ウィリアム・モリス思想における労働観—モリス書物論における「建築的」に着目して—	井川 ちとせ
情報・機能・説明—目的論的機能主義の新展開—	井頭 昌彦

人間行動研究分野

タイトル	指導教員名
同時代的な人類学的歴史研究に関する試論—異時間主義と均時間主義を越えて—	久保 明教
BILIBILI AS A CYBER-HETEROTOPIA: DIFFERENT SPACES FOR CHINESE YOUNG GENERATION	安川 一
微博上の炎上への関与に匿名性が及ぼす影響	稲葉 哲郎
他者/非人間を真剣に扱う しかし、もしかすればあまり真剣ではないのだろうか？	久保 明教
モバイル・ホーム&ホーム・イン・モーション—日本に住む1組の中国人カップルのホームを手がかりに—	安川 一

人間・社会形成研究分野

タイトル	指導教員名
教育労働運動における私学教師の教員文化—教師たちが立ち上がるための諸条件についての—考察—	山田 哲也
中国の都市社会構造の転換と職工スポーツ—「単位制」から「社区制」への変化を中心に—	坂上 康博
中国の中学校德育目標と実践—重慶市の事例から—	木村 元
主体形成における教育の介入の可能性—教育の不確実性を受容して—	中田 康彦
政治分野のクォータ制に関する日台比較研究	中北 浩爾
日本におけるスポーツヒーローとメディア—清原和博のメディア報道に関する考察—	坂上 康博
雇用制度と家族政策との制度補完性による性別役割分担の平等化—先進15か国の制度・政策効果検証と日本の過程追跡—	田中 拓道
高校就学の意味の再検討—通学を伴う通信制高校の事例から—	木村 元
現代フランス共和主義に基づく社会的統合—ドミニク・シュナベールの市民権論—	田中 拓道
満州国におけるスポーツによるプロパガンダ—『盛京時報』が1932年から1944年に主催したスポーツ・イベントからの再検証—	坂上 康博
高齢者ケアはなぜ多様なのか—不安定ケア労働と脱家族化で探るケアレジーム—	田中 拓道

総合政策研究分野

タイトル	指導教員名
教師の働きすぎに関する研究—コロナ禍での教師の働き方に着目して—	西野 史子
日本の過疎対策における市町村の画一的な取り組みに関する研究—奈良県の過疎市町村を事例として—	堂免 隆浩
中国におけるインフォーマル・セクターの女性労働者の就業保障に関する研究	西野 史子
日本における幼児教育・保育制度と福祉	白瀬 由美香
農村社会における生活者間の社会的葛藤に移住促進施策が与える影響の研究—長野県池田町A地区での「移動者」と「地元住民」への調査から—	堂免 隆浩
路上生活者が路上に留まる理由に関する考察—路上で「生きる」ことをめぐって—	猪飼 周平
日本的人事労務管理とテレワークの活用: 新型コロナウイルスの流行がテレワークの普及にどのように影響したか—情報処理企業とメーカー企業のいわゆる伝統的な日本会社を中心に—	西野 史子

歴史社会研究分野

タイトル	指導教員名
1930年代中国の南方軍閥と教育政策—新桂系統治下の広西大学を事例として—	佐藤 仁史
ポストベラム期南部の刑罰体系と囚人貸出制度—アラバマ州炭鉱企業における囚人労働を事例として—	貴堂 嘉之
加納治五郎の国内外における影響とその思想	石居 人也
天保期の非領国地域における用水争論の特質—荒川四堰用水争論を事例に—	渡辺 尚志
クロアチア＝スラヴオニア軍政国境地帯における国民統合論—1860年代の「歴史的根拠」と「住民の意向」を中心に—	秋山 晋吾
昭和天皇の陸海軍諸学校行幸とその新聞報道の研究—1927年から1945年を中心に—	石居 人也
19・20世紀転換期ウィーンにおけるオッタクリング大衆大学と民衆教育の実践—設立期の組織構造と会員分析を中心に—	秋山 晋吾
フィリピンとフィリピン系をめぐる言説の断片化—フィリピン研究・フィリピン系移民研究の再検討から—	中野 聡
明治期日本の外交政策としての内国勸業博覧会—外国人の来訪がもたらしたもの—	石居 人也
近世後期における読者の書物受容と文化ネットワーク—羽前国田川郡角田二口村佐藤東蔵家を事例として—	若尾 政希
フランスにおける捺染業の展開とトワル・ド・ジュイーオーベルカンプの経営戦略を中心に(1760-1843)—	森村 敏己
近世村落における山林資源の変遷と利用—幕府御用炭生産を背景に—	渡辺 尚志
1910～1920年における間島の朝鮮独立運動—豆満江を越える生活圏という視角から—	加藤 圭木
近世後期在村社会における儒学需要—上総道学の事例から—	若尾 政希
植民地期朝鮮・済州島の農村と戦時農業政策—無水酒精事業に伴う甘藷増産・供出を中心に—	加藤 圭木
アジア太平洋戦争期朝鮮総督府における満州移民宣伝活動	加藤 圭木
植民地朝鮮における森林政策と火田耕作者—1910年代から20年代までを中心に—	加藤 圭木
土田杏村の評論家としての仕事と思想—大正・昭和初期の文壇・論壇批評を題材として—	石居 人也
米化運動における日本人移民女性のための料理教育—アメリカ化運動における移民女性教育の歴史的文脈から—	貴堂 嘉之
植民地期朝鮮における天道教の教育活動—1920年代の平安道を中心に—	加藤 圭木
第一次世界大戦期アメリカにおける「敵性外国人登録」とドイツ系住民—カンザス州を事例に—	貴堂 嘉之
近現代日本社会における〈軍歌〉の歴史的分析—(元)兵士などの受け手に注目して—	石居 人也

地球社会研究専攻

タイトル	指導教員名
特別支援学校における肢体不自由教育のコミュニケーション	多田 治
第一次ナゴルノ・カラバフ紛争の市民生活—アルメニアの人々の「暗くて寒い時代」語りと政治背景の考察—	足羽 與志子
ディアスポラの平和構築—カダフィ体制崩壊後のリビアにおける人権問題に取り組むNGOを事例に—	福富 満久

マレーシアにおける社会変容と現代アート—アートシーンの展開とアーティストの戦略—	足羽 與志子
中国の都市におけるごみ分別の実態—蘭州市の住民のごみ分別の意識と行動に注目して—	大瀧 友里奈
性差別意識による精神的影響—ストリートハラスメントに着目して—	宮地 尚子
中国「癌村」の被害実態を捉える—被害構造論の視座から—	大瀧 友里奈
中国ソーシャルメディア上のパーティーメディアと商業メディア—ウィーチャット公式アカウントの記事を事例として—	ジョナサン・ルイス
中国のウェイボーにおけるネット炎上事件の世論形成	ジョナサン・ルイス
日本のYouTubeに表れる中国イメージの分析と考察	ジョナサン・ルイス
TOPIC MODELLING AND SENTIMENT ANALYSIS OF CHINA, COVID-19 RELATED TWEETS IN JAPANESE LANGUAGE	ジョナサン・ルイス
日本における「孤食」イメージの変遷—「日本型個人主義」を中心に—	赤嶺 淳
過眠症を抱える当事者はどのようにして自らを変容・再定義したのか—ナルコレプシーの語りに着目して—	宮地 尚子